

## REST API を使用してタスクを実行する

- Part I: レイヤ3の設定 (1ページ)
- ・パートII:外部ルーティング(L3Out)の設定(28ページ)

## Partl: レイヤ3の設定

### REST API を使用した共通パーベイシブ ゲートウェイの設定

### REST API を使用した共通パーベイシブ ゲートウェイの設定

#### 始める前に

・テナント、VRF、およびブリッジドメインが作成されていること。

#### 手順

共通パーベイシブ ゲートウェイを設定します。

次の REST API XML の例では、太字のテキストは一般的なパーベイシブ ゲートウェイの設定 に関連しています。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- api/policymgr/mo/.xml -->
<polUni>
  <fvTenant name="test">
      <fvTenant name="test">
      <fvCtx name="test"/>
      <fvBD name="test" vmac="12:34:56:78:9a:bc">
      <fvBD name="test"/>
      <fvCtx name="test"/>
      <fvRsCtx tnFvCtxName="test"/>
      <!-- Primary address -->
      <fvSubnet ip="192.168.15.254/24" preferred="yes"/>
      <!-- Virtual address -->
```

```
<fvSubnet ip="192.168.15.1/24" virtual="yes"/>
</fvBD>
<fvAp name="test">
<fvAEPg name="web">
<fvAsBd tnFvBDName="test"/>
<fvRsBd tnFvBDName="test"/>
<fvRsPathAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/3]" encap="vlan-1002"/>
</fvAEPg>
</fvAp>
</fvTenant>
</polUni>
```

### REST API を使用した IP エージングの設定

### REST API を使用した IP エージングの設定

このセクションでは、REST APIを使用した IP エージングポリシーを有効および無効にする方法を説明します。

#### 手順

ステップ1 IP エージング ポリシーを有効にするには:

#### 例:

<epIpAgingP adminSt="enabled" descr="" dn="uni/infra/ipAgingP-default" name="default" ownerKey="" ownerTag=""/>

ステップ2 IP エージング ポリシーを無効にするには:

#### 例:

<epIpAgingP adminSt="disabled" descr="" dn="uni/infra/ipAgingP-default" name="default" ownerKey="" ownerTag=""/>

#### 次のタスク

エンドポイントの IP アドレスをトラッキングするために使用される間隔を指定するには、次の例のように XML で post を送信することによって、エンドポイント保持ポリシーを作成します。

```
<fvEpRetPol bounceAgeIntvl="630" bounceTrig="protocol"
holdIntvl="350" lcOwn="local" localEpAgeIntvl="900" moveFreq="256"
name="EndpointPol1" remoteEpAgeIntvl="350"/>
```

### REST API を使用したブリッジ ドメインのスタティック ルートの設定

### REST API を使用してブリッジ ドメインでのスタティック ルートの設定

- スタティックルートのサブネットを作成するには、epg (fvAEPg で fvSubnet オブジェクト)、普及 BD (fvBD) 自体 BD しないに関連付けられているように構成されます。
- ・サブネットマスクが/32にする必要があります (128/for IPv6)1つの IP アドレスまたは1つのエンドポイントをポイントします。これは、パーベイシブ BD に関連付けられているEPG に含まれます。

#### 始める前に

テナント、VRF、BD、および EPG が作成されています。

#### 手順

普及ゲートウェイで使用される BD のスタティック ルートを設定するには、次の例など post を入力します。

#### 例:

```
<fvRsBd tnFvBDName="bd1"/>
<fvRsBd tnFvBDName="bd1"/>
<fvSubnet ip="2002:0db8:85a3:0000:0000:8a2e:0370:7344/128"
ctrl="no-default-gateway" >
<fvEpReachability>
<fvEpReachability>
<ipNexthopEpP nhAddr="2001:0db8:85a3:0000:0000:8a2e:0370:7343/128"
/>
</fvEpReachability>
</fvEpReachabilit
```

### **REST API**を使用した IPv6 ネイバー 探索の設定

REST API を使用したブリッジ ドメインの IPv6 ネイバー探索対応のテナント、VRF、およ びブリッジ ドメインの作成

手順

ネイバー探索インターフェイス ポリシーとネイバー探索プレフィックス ポリシーが適用された、テナント、VRF、ブリッジ ドメインを作成します。

```
<fvTenant descr="" dn="uni/tn-ExampleCorp" name="ExampleCorp" ownerKey="" ownerTag="">
   <ndIfPol name="NDPol001" ctrl="managed-cfg" descr="" hopLimit="64" mtu="1500"
nsIntvl="1000" nsRetries="3" ownerKey="" ownerTag="" raIntvl="600" raLifetime="1800"
reachableTime="0" retransTimer="0"/>
   <fvCtx descr="" knwMcastAct="permit" name="pvn1" ownerKey="" ownerTag=""
pcEnfPref="enforced">
    </fvCtx>
   <fvBD arpFlood="no" descr="" mac="00:22:BD:F8:19:FF" multiDstPktAct="bd-flood"
name="bdl" ownerKey="" ownerTag="" unicastRoute="yes" unkMacUcastAct="proxy"
unkMcastAct="flood">
       <fvRsBDToNdP tnNdIfPolName="NDPol001"/>
       <fvRsCtx tnFvCtxName="pvn1"/>
      <fvSubnet ctrl="nd" descr="" ip="34::1/64" name="" preferred="no" scope="private">
           <fvRsNdPfxPol tnNdPfxPolName="NDPfxPol001"/>
       </fvSubnet>
       <fvSubnet ctrl="nd" descr="" ip="33::1/64" name="" preferred="no" scope="private">
           <fvRsNdPfxPol tnNdPfxPolName="NDPfxPol002"/>
       </fvSubnet>
    </fvBD>
    <ndPfxPol ctrl="auto-cfq,on-link" descr="" lifetime="1000" name="NDPfxPol001"
ownerKey="" ownerTag="" prefLifetime="1000"/>
   <ndPfxPol ctrl="auto-cfg,on-link" descr="" lifetime="4294967295" name="NDPfxPol002"
 ownerKey="" ownerTag="" prefLifetime="4294967295"/>
</fvTenant>
 (注)
              外部ルーテッドを設定するときにパブリックサブネットがある場合は、ブリッ
```

```
ジドメインを外部設定と関連付ける必要があります。
```

### REST API を使用したレイヤ3インターフェイス上の RA による IPv6 ネイバー探索インター フェイス ポリシーの設定

手順

IPv6 ネイバー検索インターフェイスポリシーを設定し、レイヤ3インターフェイスに関連付けます。

次の例では、非 VPC セットアップの設定が表示されます。

```
(注) VPC ポートについては、ndPfxP が l3extRsNodeL3OutAtt ではなく l3extMember の子であ
る必要があります。次のコード スニペットは、VPC のセットアップでの設定を示しま
す。
```

```
<l3extLNodeP name="lnodeP001">
<l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="11.11.205.1" rtrIdLoopBack="yes"
tDn="topology/pod-2/node-2011"/>
<l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="12.12.205.1" rtrIdLoopBack="yes"
tDn="topology/pod-2/node-2012"/>
  <l3extLIfP name="lifP002">
    <l3extRsPathL3OutAtt addr="0.0.0.0" encap="vlan-205" ifInstT="ext-svi"
llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit"
tDn="topology/pod-2/protpaths-2011-2012/pathep-[vpc7]" >
      <l3extMember addr="2001:20:25:1::1/64" descr="" llAddr="::" name=""
nameAlias="" side="A">
        <ndPfxP >
          <ndRsPfxPToNdPfxPol tnNdPfxPolName="NDPfxPol001"/>
        </ndPfxP>
      </l3extMember>
      <13extMember addr="2001:20:25:1::2/64" descr="" llAddr=":::" name=""
nameAlias="" side="B">
        <ndPfxP >
          <ndRsPfxPToNdPfxPol tnNdPfxPolName="NDPfxPol001"/>
        </ndPfxP>
      </l3extMember>
    </l3extRsPathL3OutAtt>
    <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName="NDPol001"/>
                                                  </l3extLIfP>
   </l3extLNodeP>
```

### REST API を使用したネイバー探索重複アドレス検出の設定

手順

ステップ1 サブネットの ipv6Dad エントリの値を disabled に変更することによって、サブネットのネイ バー探索重複アドレス検出プロセスを無効にします。 次の例は、2001:DB8:A::11/64 サブネットのネイバー探索重複アドレス検出エントリを disabled に設定する方法を示しています:

(注) 次の REST API の例では、読みやすくなるように、長い行を\文字で分割しています。

例:

**ステップ2** リーフスイッチでshowipv6intコマンドを入力して、設定がリーフスイッチに正しくプッシュ されたか確認してください。例:

```
swtb23-leaf5# show ipv6 int vrf icmpv6:v1
IPv6 Interface Status for VRF "icmpv6:v1"(9)
vlan2, Interface status: protocol-up/link-up/admin-up, iod: 73
if_mode: ext
IPv6 address:
    2001:DB8:A::2/64 [VALID] [PREFERRED]
    2001:DB8:A::11/64 [VALID] [dad-disabled]
IPv6 subnet: 2001:DB8:A::/64
IPv6 link-local address: fe80::863d:c6ff:fe9f:eb8b/10 (Default) [VALID]
```

### **REST API** を使用した Microsoft NLB の設定

#### REST API を使用したユニキャスト モードでの Microsoft NLB の設定

手順

Microsoft NLB をユニキャスト モードで設定するには、次の例のように XML で POST を送信 します。

```
https://apic-ip-address/api/node/mo/uni/.xml
<polUni>
    <fvTenant name="tn2" >
        <fvCtx name="ctx1"/>
        <fvBD name="bd2">
            <fvRsCtx tnFvCtxName="ctx1" />
        </fvBD>
        <fvAp name = "ap1">
            <fvAEPg name = "ep1">
                <fvRsBd tnFvBDName = "bd2"/>
                <fvSubnet ip="10.0.1.1/32" scope="public" ctrl="no-default-gateway">
                    <fvEpNlb mac="12:21:21:35" mode="mode-uc"/>
                </fvSubnet>
            </fvAEPg>
        </fvAp>
    </fvTenant>
</polUni>
```

### REST API を使用したマルチキャスト モードでの Microsoft NLB の設定

手順

Microsoft NLB をマルチキャストモードで設定するには、次の例のように XML で POST を送信します。

```
https://apic-ip-address/api/node/mo/uni/.xml
<polUni>
    <fvTenant name="tn2" >
        <fvCtx name="ctx1"/>
        <fvBD name="bd2">
            <fvRsCtx tnFvCtxName="ctx1" />
        </fvBD>
        <fvAp name = "ap1">
            <fvAEPg name = "ep1">
                <fvRsBd tnFvBDName = "bd2"/>
              <fvSubnet ip="2001:0db8:85a3:0000:0000:8a2e:0370:7344/128" scope="public"
ctrl="no-default-gateway">
                    <fvEpNlb mac="03:21:21:35" mode="mode-mcast--static"/>
                </fvSubnet>
                <fvRsPathAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/6]"
encap="vlan-911" >
                    <fvNlbStaticGroup mac = "03:21:21:35" />
                </fvRsPathAtt>
            </fvAEPg>
        </fvAp>
    </fvTenant>
</polUni>
```

### REST API を使用した IGMP モードでの Microsoft NLB の設定

#### 手順

Microsoft NLB を IGMP モードで設定するには、次の例のように XML で POST を送信します。

#### 例:

```
https://apic-ip-address/api/node/mo/uni/.xml
<polUni>
    <fvTenant name="tn2" >
        <fvCtx name="ctx1"/>
        <fvBD name="bd2">
            <fvRsCtx tnFvCtxName="ctx1" />
        </fvBD>
        <fvAp name = "ap1">
            <fvAEPg name = "ep1">
                <fvRsBd tnFvBDName = "bd2"/>
                <fvSubnet ip="10.0.1.3/32" scope="public" ctrl="no-default-gateway">
                    <fvEpNlb group ="224.132.18.17" mode="mode-mcast-igmp" />
                </fvSubnet>
            </fvAEPg>
        </fvAp>
    </fvTenant>
</polUni>
```

### REST API を使用した IGMP スヌーピングの設定

REST API を使用したブリッジドメインへの IGMP スヌーピング ポリシーの設定と割り当て

#### 手順

IGMP スヌーピングポリシーを設定してブリッジドメインに割り当てるには、次の例のように XML で POST を送信します。

```
https://apic-ip-address/api/node/mo/uni/.xml
<fvTenant name="mcast_tenant1">
<!-- Create an IGMP snooping template, and provide the options -->
<igmpSnoopPol name="igmp_snp_bd_21"
ver="v2"
adminSt="enabled"
lastMbrIntvl="1"
queryIntvl="10"
startQueryCnt="2"
startQueryIntvl="31"
```

```
/>
<fvCtx name="ip_video"/>
<fvBD name="bd_21">
<fvBCtx tnFvCtxName="ip_video"/>
<!-- Bind IGMP snooping to a BD -->
<fvRsIgmpsn tnIgmpSnoopPolName="igmp_snp_bd_21"/>
</fvBD></fvTenant>
```

この例では、次のプロパティで IGMP スヌーピング ポリシー、igmp\_snp\_bd\_12 を作成および 設定し、IGNPポリシー、igmp\_snp\_bd\_12 をブリッジ ドメイン bd\_21 にバインドします。

- 管理状態が有効です。
- 最後のメンバクエリ間隔は、デフォルトでは、1秒です。
- ・クエリ間隔は、デフォルトでは125です。
- クエリの応答間隔はデフォルトでは10秒です。
- クエリの開始カウントは、デフォルトでは2メッセージです。
- クエリの開始間隔は31秒です。
- クエリアバージョンをv2に設定する。

### REST API を使用した静的ポートでの IGMP スヌーピングとマルチキャストの有効化

EPG に静的に割り当てられているポートで、IGMP スヌーピングおよびマルチキャスト処理を 有効にできます。それらのポートで有効なIGMP スヌープおよびマルチキャストトラフィック へのアクセスを許可または拒否するアクセスユーザーのグループを作成および割り当てること ができます。

#### 手順

スタティックポートでアプリケーションEPGを設定するには、それらのポートをIGMPスヌー ピングおよびマルチキャストトラフィックを受信し処理するように有効にして、グループをア クセスに割り当てるかトラフィックへのアクセスを拒否するように割り当て、次の例のように XML で POST を送信します。

次の例では、IGMP スヌーピングが VLAN 202 上の leaf 102 インターフェイス 1/10 で有効に なっています。マルチキャスト IP アドレス 224.1.1.1 および 225.1.1. がこのポートに関連付 けられます。

### IGMP スヌーピングを REST API を使用するマルチ キャスト グループのアクセスを有効化

IGMP を有効にした後にスヌーピングおよび、EPG に静的に割り当てられているポートでマル チキャストすることができますし、作成を許可またはIGMP スヌーピングへのアクセスを拒否 するユーザのアクセスのグループを割り当てるおよびマルチキャストトラフィックは、これら のポートで有効になっています。

#### 手順

アクセスグループを定義する F23broker 、送信 XML で post このような次の例のよ。

例は、設定アクセスグループ F23broker tenant\_A、Rmap\_A、application\_A、リーフ 102、 1/10、インターフェイス VLAN 202 で、epg\_A に関連付けられている。Rmap\_A、アクセスグ ループとの関連付けによって F23broker マルチキャスト アドレス 226.1.1.1/24 で受信したマ ルチキャストトラフィックへのアクセスがあり、マルチキャストアドレス 227.1.1.1/24 で受信 したトラフィックへのアクセスは拒否されます。

#### 例:

<!-- api/node/mo/uni/.xml --> <fvTenant name="tenant\_A"> <pimRouteMapPol name="Rmap\_A"> <pimRouteMapEntry action="permit" grp="226.1.1.1/24" order="10"/> <pimRouteMapEntry action="deny" grp="227.1.1.1/24" order="20"/> </pimRouteMapPol> <fvAp name="application\_A"> <fvAEPg name="epg\_A"> <fvRsPathAtt encap="vlan-202" instrImedcy="immediate" mode="regular" tDn="topology/pod-1/paths-102/pathep-[eth1/10]"> <!-- IGMP snooping access group case --> <igmpSnoopAccessGroup name="F23broker"> <igmpRouteMapPolName="F23broker"> <igmpRouteMapPolName="F23broker"> </fvAEPg</fvAp> </fvAp> </fvAp> </fvAp> </fvAsPathAtt> </fvAsPg</fvAp> </fvAsPathAtt> </fvAsPg</fvAp> </fvAsPathAtt> </fvAsPg</fvAp> </fvAsPathAtt> </fvAsPg</fvAp> </fvAsPathAtt> </fvAsPg</fvAp> </fvAsPathAtt> </fvAsPg</fvAp> </fvAsPathAtt> </fvAsPg> </fvAsPg</fvAp> </fvAsPathAtt> </fvAsPg> </fvAsPg</fvAp> </fvAsPathAtt> </fvAsPg> </fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg</fvAsPg

### REST API を使用した MLD スヌーピングの設定

# REST API を使用した MLD スヌーピング ポリシーの設定とブリッジ ドメインへの割り当

手順

MLD スヌーピング ポリシーを設定してブリッジ ドメインに割り当てるには、次の例のように XML で POST を送信します。

#### 例:

この例では、MLD スヌーピング ポリシー [mldsn] を作成して次のプロパティを設定し、MLD ポリシー [mldsn-it-fabric-querier-policy] をブリッジ ドメイン [mldsn-bd3] にバインドします。

- 高速脱退処理が有効になっています
- クエリア処理が有効になっています
- ・クエリ間隔は125 に設定されています
- ・最大クエリ レスポンス タイムは 10 に設定されています
- ・送信する初期クエリの数は2に設定されます
- •初期クエリの送信時間は31に設定されます

### REST API を使用した IP マルチキャストの設定

REST API を使用したレイヤ3マルチキャストの設定

手順

ステップ1 テナントと VRF を設定し、VRF のマルチキャストを有効にします。 例:

```
<fvTenant dn="uni/tn-PIM_Tenant" name="PIM_Tenant">
  <fvCtx knwMcastAct="permit" name="ctx1">
        <pimCtxP mtu="1500">
        </pimCtxP>
        </fvCtx>
        </fvCtx>
```

ステップ2 L3 アウトを設定し、L3 アウト上のマルチキャスト (PIM、IGMP) を有効にします。

#### 例:

```
<l3extOut enforceRtctrl="export" name="l3out-pim l3out1">
       <l3extRsEctx tnFvCtxName="ctx1"/>
       <l3extLNodeP configIssues="" name="bLeaf-CTX1-101">
         <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="200.0.0.1" rtrIdLoopBack="yes"
tDn="topology/pod-1/node-101"/>
         <l3extLIfP name="if-PIM Tenant-CTX1" tag="yellow-green">
           <igmpIfP/>
           <pimIfP>
             <pimRsIfPol tDn="uni/tn-PIM Tenant/pimifpol-pim pol1"/>
           </pimIfP>
           <l3extRsPathL3OutAtt addr="131.1.1.1/24" ifInstT="13-port" mode="regular"
mtu="1500" tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/46]"/>
         </l3extLIfP>
       </13extLNodeP>
       <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-l3outDom"/>
       <l3extInstP name="l3out-PIM_Tenant-CTX1-1topo" >
       </l3extInstP>
       <pimExtP enabledAf="ipv4-mcast" name="pim"/>
     </l3extOut>
```

ステップ3 テナントで BD を設定して、BD のマルチキャストおよび IGMP を有効にします。

#### 例:

```
<fvTenant dn="uni/tn-PIM_Tenant" name="PIM_Tenant">
<fvBD arpFlood="yes" mcastAllow="yes" multiDstPktAct="bd-flood" name="bd2"
type="regular" unicastRoute="yes" unkMacUcastAct="flood" unkMcastAct="flood">
<igmpIfP/>
<fvRsBDToOut tnL3extOutName="l3out-pim_l3out1"/>
<fvRsCtx tnFvCtxName="ctx1"/>
<fvRsIgmpsn/>
<fvSubnet ctrl="" ip="41.1.1.254/24" preferred="no" scope="private" virtual="no"/>
</fvBD>
```

</fvTenant>

ステップ4 IGMP ポリシーを設定し、それを BD に割り当てます。

#### 例:

ステップ5 VRF のルート マップ、PIM、および RP ポリシーを設定します。

REST API を使用してファブリック RP を設定する場合、最初にスタティック RP を設定します。

例:

(注)

#### スタティック RP を設定しています:

```
<fvTenant dn="uni/tn-PIM Tenant" name="PIM Tenant">
     <pimRouteMapPol name="rootMap">
       <pimRouteMapEntry action="permit" grp="224.0.0.0/4" order="10" rp="0.0.0.0"</pre>
src="0.0.0/0"/>
     </pimRouteMapPol>
     <fvCtx knwMcastAct="permit" name="ctx1">
       <pimCtxP ctrl="" mtu="1500">
         <pimStaticRPPol>
           <pimStaticRPEntryPol rpIp="131.1.1.2">
             <pimRPGrpRangePol>
               <rtdmcRsFilterToRtMapPol tDn="uni/tn-PIM Tenant/rtmap-rootMap"/>
             </pimRPGrpRangePol>
           </pimStaticRPEntryPol>
         </pimStaticRPPol>
       </pimCtxP>
   </fvCtx>
</fvTenant>
```

#### ファブリック RP を設定しています:

```
<fvTenant name="t0">
            <pimRouteMapPol name="fabricrp-rtmap">
               <pimRouteMapEntry grp="226.20.0.0/24" order="1" />
            </pimRouteMapPol>
  <fvCtx name="ctx1">
         <pimCtxP ctrl="">
               <pimFabricRPPol status="">
                   <pimStaticRPEntryPol rpIp="6.6.6.6">
                       <pimRPGrpRangePol>
                          <rtdmcRsFilterToRtMapPol tDn="uni/tn-t0/rtmap-fabricrp-rtmap"
 />
                       </pimRPGrpRangePol>
                   </pimStaticRPEntryPol>
               </pimFabricRPPol>
            </pimCtxP>
  </fvCtx>
</fvTenant>
```

#### **ステップ6** PIM インターフェイス ポリシーを設定し、それを L3 アウトに適用します。

</l3extOut> </fvTenant>

ステップ7 Inter-VRF マルチキャストを設定します。

#### 例:

```
<fvTenant name="t0">
          <pimRouteMapPol name="intervrf" status="">
             <pimRouteMapEntry grp="225.0.0.0/24" order="1" status=""/>
             <pimRouteMapEntry grp="226.0.0.0/24" order="2" status=""/>
             </pimRouteMapPol>
      <fvCtx name="ctx1">
          <pimCtxP ctrl="">
             <pimInterVRFPol status="">
                <pimInterVRFEntryPol srcVrfDn="uni/tn-t0/ctx-stig r ctx" >
                 <rtdmcRsFilterToRtMapPol tDn="uni/tn-t0/rtmap-intervrf" />
                </pimInterVRFEntryPol>
             </pimInterVRFPol>
          </pimCtxP>
      </fvCtx>
</fvTenant>
```

### REST API を使用したレイヤ3 IPv6 マルチキャストの設定

#### 始める前に

- 目的のVRF、ブリッジドメイン、IPv6アドレスを持つレイヤ3Outインターフェイスは、 PIM6が有効になるように設定する必要があります。レイヤ3Outの場合、IPv6マルチキャ ストが機能するために、論理ノードプロファイルのノードにIPv6ループバックアドレス が設定されます。
- •基本的なユニキャストネットワークを設定する必要があります。

#### 手順

ステップ1 VRF で PIM6 を有効にします。

例:

```
<fvTenant name="t0">
<fvCtx name="ctx1" pcEnfPref="unenforced" >
<pimIPV6CtxP ctr1="" mtu="1500" />
</fvCtx>
</fvTenant>
```

ステップ2 レイヤ3 Out で PIM6 を有効にします。

```
<fvTenant dn="uni/tn-t0" name="t0">
<l3extOut enforceRtctrl="export" name="bl_l3out_1">
```

```
<pimExtP enabledAf="ipv6-mcast" name="pim"/>
</l3extOut>
</fvTenant>
```

#### ステップ3 BD で PIM6 を有効にします。

#### 例:

```
<fvTenant name="t0" >

<fvBD name="BD_VPC5" ipv6McastAllow="yes" >

<fvRsCtx tnFvCtxName="ctx1" />

<fvSubnet ip="124:1::ffff:ffff:0/64" scope="public"/>

</fvBD>

</fvTenant>
```

#### ステップ4 スタティック ランデブー ポイントの設定

#### 例:

```
<fvTenant name="t0">
  <pimRouteMapPol dn="uni/tn-t0/rtmap-static_101_ipv6" name="static_101_ipv6">
    <pimRouteMapEntry action="permit" grp="ff00::/8" order="1"</pre>
rp="2001:0:2001:2001:1:1:1:1/128" src="::"/>
  </pimRouteMapPol>
  <fvCtx name="ctx1" pcEnfPref="unenforced">
    <pimIPV6CtxP ctrl="" mtu="1500">
      <pimStaticRPPol>
        <pimStaticRPEntryPol rpIp="2001:0:2001:2001:1:1:1:1">
          <pimRPGrpRangePol>
            <rtdmcRsFilterToRtMapPol tDn="uni/tn-t0/rtmap-static 101 ipv6"/>
          </pimRPGrpRangePol>
        </pimStaticRPEntryPol>
      </pimStaticRPPol>
    </pimIPV6CtxP>
  </fvCtx>
</fvTenant>
```

ステップ5 PIM6 インターフェイス ポリシーを設定し、レイヤ 3 Out に適用します。

#### 例:

```
<fvTenant dn="uni/tn-t0" name="t0">
<l3extOut enforceRtctrl="export" name="bl_l3out_1">
<l3extLNodeP annotation="" configIssues="" descr="" name="common_npl" nameAlias=""
ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green" targetDscp="unspecified">
<l3extLIfP annotation="" descr="" name="common_intpl_v6" nameAlias="" ownerKey=""
ownerTag="" prio="unspecified" tag="yellow-green">
<pimIPV6IfP annotation="" descr="" name="common_intpl_v6" nameAlias="" ownerKey=""
ownerTag="" prio="unspecified" tag="yellow-green">
<pimIPV6IfP annotation="" descr="" name="" nameAlias="">
<pimRsV6IfPol annotation="" tDn="uni/tn-common/pimifpol-pimv6_policy"/>
</liextLIfP>
</l3extLIfP>
</l3extLIfP>
</l3extLIfP>
</l3extLNodeP>
</liextOut>
```

PIM6を使用したレイヤ3IPv6マルチキャストが有効になります。

#### REST API を使用したマルチキャスト フィルタリングの設定

ブリッジ ドメイン レベルでマルチキャスト フィルタリングを設定します。このトピックの手順を使用して、ブリッジ ドメイン レベルで送信元フィルタリングまたは受信者フィルタリン グ、あるいはその両方を設定します。

#### 始める前に

- マルチキャストフィルタリングを設定するブリッジドメインはすでに作成されています。
- •ブリッジ ドメインは PIM 対応ブリッジ ドメインです。
- ・レイヤ3マルチキャストはVRFレベルで有効になります。

#### 手順

```
ステップ1 ブリッジ ドメインでマルチキャスト ソース フィルタリングを有効にする場合は、次の例のように XML で POST を送信します。
```

#### 例:

```
<fvBD dn="uni/tn-filter/BD-BD1520" ipv6McastAllow="no" mcastAllow="yes">
<pimBDP annotation="" descr="" name="" nameAlias="" ownerKey="" ownerTag="">
<pimBDFilterPol annotation="" descr="" name="" nameAlias="">
<pimBDSrcFilterPol annotation="" descr="" name="" nameAlias="">
</pimBDSrcFilterPol annotation="" descr="" name="" nameAlias="">
</pimBDSrcFilterPol>
</pimBDFilterPol>
</pimBDP>
</pimBDP>
```

**ステップ2** ブリッジ ドメインでマルチキャスト レシーバ フィルタリングを有効にする場合は、次の例の ように XML で POST を送信します。

```
<fvBD dn="uni/tn-filter/BD-BD1520" ipv6McastAllow="no" mcastAllow="yes">
<pimBDP annotation="" descr="" name="" nameAlias="" ownerKey="" ownerTag="">
<pimBDFilterPol annotation="" descr="" name="" nameAlias="">
<pimBDDestFilterPol annotation="" descr="" name="" nameAlias="">
</pimBDDestFilterPol annotation="" descr="" nameAlias="" descr="" d
```

 (注) また、次の例のように XML で POST を送信することで、同じブリッジドメインで送 信元と受信者の両方のフィルタリングを有効にすることもできます。

```
<fvBD dn="uni/tn-filter/BD-BD1520" ipv6McastAllow="no" mcastAllow="yes">
<pimBDP annotation="" descr="" name="" ownerKey="" ownerTag="">
<pimBDFilterPol annotation="" descr="" name="" nameAlias="">
<pimBDSrcFilterPol annotation="" descr="" name="" nameAlias="">
</pimBDSrcFilterPol annotation="" descr="" name="" nameAlias="">
</pimBDSrcFilterPol></pimBDSrcFilterPol></pimBDSrcFilterPol></pimBDSrcFilterPol></pimBDDestFilterPol></pimBDPstFilterPol></pimBDFilterPol></pimBDFilterPol></pimBDP></pimBDP></pimBDP></pimBDP>
```

### REST API を使用したマルチポッドの設定

REST API を使用したマルチポッド ファブリックのセットアップ

手順

ステップ1 Cisco APIC へのログイン:

#### 例:

http://<apic-name/ip>:80/api/aaaLogin.xml

data: <aaaUser name="admin" pwd="ins3965!"/>

#### ステップ2 TEP プールの設定:

#### 例:

http://<apic-name/ip>:80/api/policymgr/mo/uni/controller.xml

```
<fabricSetupPol status=''>
<fabricSetupP podId="1" tepPool="10.0.0.0/16" />
<fabricSetupP podId="2" tepPool="10.1.0.0/16" status='' />
</fabricSetupPol>
```

#### ステップ3 ノード ID ポリシーの設定:

#### 例:

http://<apic-name/ip>:80/api/node/mo/uni/controller.xml

```
<fabricNodeIdentPol>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1819RXP4" name="ifav4-leaf1" nodeId="101" podId="1"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1803L25H" name="ifav4-leaf2" nodeId="102" podId="1"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1934MNY0" name="ifav4-leaf3" nodeId="103" podId="1"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1934MNY3" name="ifav4-leaf4" nodeId="104" podId="1"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1748H56D" name="ifav4-spine1" nodeId="201" podId="1"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1938P7A6" name="ifav4-spine3" nodeId="202" podId="1"/>
```

<fabricNodeIdentP serial="SAL1938PHBB" name="ifav4-leaf5" nodeId="105" podId="2"/> <fabricNodeIdentP serial="SAL1942R857" name="ifav4-leaf6" nodeId="106" podId="2"/> <fabricNodeIdentP serial="SAL1931LA3B" name="ifav4-spine2" nodeId="203" podId="2"/> <fabricNodeIdentP serial="FGE173400A9" name="ifav4-spine4" nodeId="204" podId="2"/> </fabricNodeIdentPol>

#### ステップ4 インフラ L3Out および外部接続プロファイルの設定:

#### 例:

http://<apic-name/ip>:80/api/node/mo/uni.xml

```
<polUni>
```

<fvTenant descr="" dn="uni/tn-infra" name="infra" ownerKey="" ownerTag="">

```
<ld><l3extOut descr="" enforceRtctrl="export" name="multipod" ownerKey="" ownerTag=""
targetDscp="unspecified" status=''>
<ospfExtP areaId='0' areaType='regular' status=''/>
```

<l3extRsEctx tnFvCtxName="overlay-1"/>

<l3extLNodeP name="bSpine"> <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="201.201.201.201" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-1/node-201"> <l3extLoopBackIfP addr="201::201/128" descr="" name=""/> <l3extLoopBackIfP addr="201.201.201.201/32" descr="" name=""/> </l3extRsNodeL3OutAtt> <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="202.202.202.202" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-1/node-202"> <l3extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="yes" name=""/> <l3extLoopBackIfP addr="202::202/128" descr="" name=""/> <l3extLoopBackIfP addr="202.202.202.202/32" descr="" name=""/> </l3extRsNodeL3OutAtt> <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="203.203.203.203" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-2/node-203"> <l3extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="yes" name=""/> <l3extLoopBackIfP addr="203::203/128" descr="" name=""/> <l3extLoopBackIfP addr="203.203.203.203/32" descr="" name=""/> <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="204.204.204.204" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-2/node-204"> <l3extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="yes" name=""/> <l3extLoopBackIfP addr="204::204/128" descr="" name=""/> <l3extLoopBackIfP addr="204.204.204.204/32" descr="" name=""/> </l3extRsNodeL3OutAtt> <l3extLIfP name='portIf'> <l3extRsPathL3OutAtt descr='asr' tDn="topology/pod-1/paths-201/pathep-[eth1/1]" encap='vlan-4' ifInstT='sub-interface' addr="201.1.1.1/30" /> <l3extRsPathL3OutAtt descr='asr' tDn="topology/pod-1/paths-201/pathep-[eth1/2]" encap='vlan-4' ifInstT='sub-interface' addr="201.2.1.1/30" /> <l3extRsPathL3OutAtt descr='asr' tDn="topology/pod-1/paths-202/pathep-[eth1/2]" encap='vlan-4' ifInstT='sub-interface' addr="202.1.1.1/30" /> <l3extRsPathL3OutAtt descr='asr' tDn="topology/pod-2/paths-203/pathep-[eth1/1]" encap='vlan-4' ifInstT='sub-interface' addr="203.1.1.1/30" /> <l3extRsPathL3OutAtt descr='asr' tDn="topology/pod-2/paths-203/pathep-[eth1/2]" encap='vlan-4' ifInstT='sub-interface' addr="203.2.1.1/30" />

<l3extRsPathL3OutAtt descr='asr'

```
tDn="topology/pod-2/paths-204/pathep-[eth4/31]" encap='vlan-4' ifInstT='sub-interface'
addr="204.1.1.1/30" />
          <ospfIfP>
              <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName='ospfIfPol'/>
          </ospfIfP>
        </l3extLIfP>
     </l3extLNodeP>
     <l3extInstP descr="" matchT="AtleastOne" name="instp1" prio="unspecified"
targetDscp="unspecified">
         <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
     </l3extInstP>
   </l3extOut>
  <fvFabricExtConnP descr="" id="1" name="Fabric Ext Conn Pol1" rt="extended:as2-nn4:5:16"
 status=''>
     <fvPodConnP descr="" id="1" name="">
        <fvIp addr="100.11.1.1/32"/>
     </fvPodConnP>
     <fvPodConnP descr="" id="2" name="">
        <fvIp addr="200.11.1.1/32"/>
     </fvPodConnP>
     <fvPeeringP descr="" name="" ownerKey="" ownerTag=""
type="automatic with full mesh"/>
    <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="100.0.0/8" name=""
scope="import-security"/>
        <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="200.0.0/8" name=""
scope="import-security"/>
        <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="201.1.0.0/16" name=""
scope="import-security"/>
        <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="201.2.0.0/16" name=""
scope="import-security"/>
        <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="202.1.0.0/16" name=""
scope="import-security"/>
        <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="203.1.0.0/16" name=""
scope="import-security"/>
        <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="203.2.0.0/16" name=""
scope="import-security"/>
        <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="204.1.0.0/16" name=""
scope="import-security"/>
     </l3extFabricExtRoutingP>
   </fvFabricExtConnP>
</fvTenant>
</polUni>
```

### REST API を使用したリモート リーフ スイッチの設定

### REST API を使用したリモート リーフ スイッチの設定

Cisco APIC を有効にして IPN ルータとリモートリーフ スイッチを検出し接続するには、この トピックの手順を実行します。 この例では、マルチポッド トポロジで、ポッドにリモート リーフ スイッチが接続されている ことを前提としています。VRF オーバーレイ 1 とともに、インフラ テナントに設定されてい る 2 個の L3Outs が含まれます。

- •1 個は VLAN 4 に設定され、リモート リーフ スイッチとスパイン スイッチ両方が WAN ルータに接続されている必要があります。
- 1 個はマルチポッド内部 L3Out が VLAN5 で設定されており、一緒に展開する場合はマル チポッドとリモート リーフ機能に必要です。

#### 手順

**ステップ1** ポッドに接続されるように2個のリモートリーフスイッチに TEP プールを定義するには、次の例のように XML で POST を送信します。

#### 例:

**ステップ2** ノードのアイデンティティ ポリシーを定義するには、次の例のように XML で POST を送信します。

#### 例:

```
<fabricNodeIdentPol>

<fabricNodeIdentP serial="SAL17267Z7W" name="leaf1" nodeId="101" podId="1"

extPoolId="1" nodeType="remote-leaf-wan"/>

<fabricNodeIdentP serial="SAL17267Z7X" name="leaf2" nodeId="102" podId="1"

extPoolId="1" nodeType="remote-leaf-wan"/>

<fabricNodeIdentP serial="SAL17267Z7Y" name="leaf3" nodeId="201" podId="1"

extPoolId="1" nodeType="remote-leaf-wan"/>

<fabricNodeIdentP serial="SAL17267Z7Z" name="leaf4" nodeId="201" podId="1"

extPoolId="1" nodeType="remote-leaf-wan"/>

<fabricNodeIdentP serial="SAL17267Z7Z" name="leaf4" nodeId="201" podId="1"

extPoolId="1" nodeType="remote-leaf-wan"/>

<fabricNodeIdentP serial="SAL17267Z7Z" name="leaf4" nodeId="201" podId="1"

extPoolId="1" nodeType="remote-leaf-wan"/>

</fabricNodeIdentPol>
```

**ステップ3** ファブリック外部接続プロファイルを設定するには、次の例のように XML で POST を送信します。

```
<l3extSubnet ip="202.1.0.0/16" scope="import-security"/>
         <l3extSubnet ip="207.1.0.0/16" scope="import-security"/>
          <l3extSubnet ip="200.0.0/8" scope="import-security"/>
          <l3extSubnet ip="201.2.0.0/16" scope="import-security"/>
         <l3extSubnet ip="210.2.0.0/16" scope="import-security"/>
          <l3extSubnet ip="209.1.0.0/16" scope="import-security"/>
          <l3extSubnet ip="203.2.0.0/16" scope="import-security"/>
         <l3extSubnet ip="208.1.0.0/16" scope="import-security"/>
          <l3extSubnet ip="207.2.0.0/16" scope="import-security"/>
         <l3extSubnet ip="100.0.0/8" scope="import-security"/>
          <l3extSubnet ip="201.1.0.0/16" scope="import-security"/>
          <l3extSubnet ip="210.1.0.0/16" scope="import-security"/>
         <l3extSubnet ip="203.1.0.0/16" scope="import-security"/>
          <l3extSubnet ip="208.2.0.0/16" scope="import-security"/>
     </l3extFabricExtRoutingP>
     <fvPodConnP id="1">
          <fvIp addr="100.11.1.1/32"/>
   </fvPodConnP>
   <fvPodConnP id="2">
          <fvIp addr="200.11.1.1/32"/>
   </fvPodConnP>
   <fvPeeringP type="automatic with full mesh"/>
</fvFabricExtConnP>
```

```
</imdata>
```

ステップ4 VLAN4でL3Outを設定するには、リモートリーフスイッチとスパインスイッチ両方がWAN ルータに接続され、次の例のようにXMLを入力する必要があります。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<polUni>
<fvTenant name="infra">
 <l3extOut name="rleaf-wan-test">
   <ospfExtP areaId="0.0.0.5"/>
   <l3extRsEctx tnFvCtxName="overlay-1"/>
   <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-l3extDom1"/>
   <l3extLNodeP name="rleaf-101">
     </l3extRsNodeL3OutAtt>
     <l3extLIfP name="portIf">
      <l3extRsPathL3OutAtt ifInstT="sub-interface"
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/49]" addr="202.1.1.2/30" mac="AA:11:22:33:44:66"
encap='vlan-4'/>
       <ospfIfP>
        <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName='ospfIfPol'/>
       </ospfIfP>
     </l3extLIfP>
   </lastLNodeP>
   <l3extLNodeP name="rlSpine-201">
     <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="201.201.201.201" rtrIdLoopBack="no"
tDn="topology/pod-1/node-201">
      <!--
      <l3extLoopBackIfP addr="201::201/128" descr="" name=""/>
      <l3extLoopBackIfP addr="201.201.201.201/32" descr="" name=""/>
       -->
      <l3extLoopBackIfP addr="::" />
     </l3extRsNodeL3OutAtt>
     <l3extLIfP name="portIf">
      <l3extRsPathL3OutAtt ifInstT="sub-interface"
tDn="topology/pod-1/paths-201/pathep-[eth8/36]" addr="201.1.1.1/30" mac="00:11:22:33:77:55"
encap='vlan-4'/>
```

- ステップ5 リリース 4.1(2) 以前で、VLAN-5 でマルチポッド L3Out を設定するには、マルチポッドとリ モート リーフ トポロジの両方と、次の例のように XML を送信する必要があります。
  - (注) リリース 4.1(2) 以降を実行している新しいリモート リーフ スイッチを導入し、それらのリモート リーフスイッチで直接トラフィック転送をイネーブルにする場合は、この情報を入力しないでください。この場合、マルチポッドに VLAN-5 を使用してOSPF インスタンスを設定する必要はありません。

詳細については、ダイレクトトラフィックフォワーディングについてを参照してください。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<polUni>
  <fvTenant name="infra" >
    <l3extOut name="ipn-multipodInternal">
      <ospfExtP areaCtrl="inherit-ipsec,redistribute,summary" areaId="0.0.0.5"</pre>
multipodInternal="yes" />
      <l3extRsEctx tnFvCtxName="overlay-1" />
      <l3extLNodeP name="bLeaf">
        <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="202.202.202.202" rtrIdLoopBack="no"
tDn="topology/pod-2/node-202">
            <l3extLoopBackIfP addr="202.202.202.212"/>
       </l3extRsNodeL3OutAtt>
        <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="102.102.102.102" rtrIdLoopBack="no"
tDn="topology/pod-1/node-102">
            <l3extLoopBackIfP addr="102.102.102.112"/>
       </l3extRsNodeL3OutAtt>
        <l3extLIfP name="portIf">
          <ospfIfP authKeyId="1" authType="none">
            <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName="ospfIfPol" />
          </ospfTfP>
          <l3extRsPathL3OutAtt addr="10.0.254.233/30" encap="vlan-5"
ifInstT="sub-interface" tDn="topology/pod-2/paths-202/pathep-[eth5/2]"/>
          <l3extRsPathL3OutAtt addr="10.0.255.229/30" encap="vlan-5"
ifInstT="sub-interface" tDn="topology/pod-1/paths-102/pathep-[eth5/2]"/>
        </13ext.LTfP>
      </l3extLNodeP>
      <l3extInstP matchT="AtleastOne" name="ipnInstP" />
    </13extOut>
  </fvTenant>
</polUni>
```

### REST API を使用した SR-MPLS ハンドオフの設定

### REST API を使用した SR-MPLS インフラ L30ut の設定

- SR-MPLS インフラ L3Out は、境界リーフスイッチで設定され、SR-MPLS ハンドオフに必要なアンダーレイ BGP-LU およびオーバーレイ MP-BGP EVPN セッションを設定するために使用されます。
- SR-MPLS インフラ L3Out は、ポッドまたはリモート リーフスイッチ サイトにスコープさ れます。
- •1つの SR-MPLS インフラ L3Out 内の境界リーフ スイッチまたはリモート リーフ スイッチ は、1つ以上のルーティング ドメイン内の1つ以上のプロバイダー エッジ (PE) ルータ に接続できます。
- ・ポッドまたはリモート リーフスイッチ サイトには、1 つ以上の SR-MPLS インフラ L3Out を設定できます。
- 各SR-MPLSインフラL3Outには、一意のプロバイダーラベルと1つのプロバイダーラベルのみが必要です。各SR-MPLSインフラL3Outは、プロバイダーラベルによって識別されます。

SR-MPLS インフラ L3Out を設定する場合は、次の項目を設定します。

- ・ノード
  - リーフスイッチのみがSR-MPLSインフラL3Outのノードとして設定できます(境界 リーフスイッチおよびリモートリーフスイッチ)。
  - 各 SR-MPLS インフラ L3Out は、1 つのポッドからの境界リーフ スイッチまたは同じ サイトからのリモート リーフ スイッチを持つことができます。
  - 各境界リーフスイッチまたはリモートリーフスイッチは、複数のSR-MPLSドメインに接続する場合、複数のSR-MPLSインフラL3Outで設定できます。
  - また、ノードの下にループバックインターフェイスを設定し、ループバックインター フェイスの下にノード SID ポリシーを設定します。

#### ・インターフェイス

- サポートされるインターフェイスのタイプは次のとおりです。
  - ルーテッドインターフェイスまたはサブインターフェイス
  - ・ルーテッド ポートチャネルまたはポートチャネル サブインターフェイス

サブインターフェイスでは、任意の VLAN タグがサポートされます。

・また、SR-MPLS infra L3Out のインターフェイス エリアの下にアンダーレイ BGP ピア ポリシーを設定します。

- ・QoSルール
  - MPLS 入力ルールと MPLS 出力ルールは、SR-MPLS インフラ L3Out の MPLS QoS ポ リシーを使用して設定できます。
  - MPLS QoS ポリシーを作成しない場合、入力 MPLS トラフィックにはデフォルトの QoS レベルが割り当てられます。
- また、SR-MPLS インフラ L3Out を使用してアンダーレイとオーバーレイを設定します。
  - アンダーレイ:インターフェイス設定の一部としてのBGPピアIP(BGPLUピア)設定。
  - オーバーレイ:論理ノードプロファイル設定の一部としてのMP-BGP EVPN リモート IPv4 アドレス(MP-BGP EVPN ピア)設定。

#### 始める前に

- SR-MPLSのガイドラインおよび制限事項で提供されているSR-MPLSガイドラインと制約事項を確認します。特に、SR-MPLSインフラL3Outのガイドラインと制約事項で提供されているガイドラインと制約事項を確認してください。
- (任意) 必要に応じて、の手順を使用して MPLS カスタム QoS ポリシーを設定します。
   REST API を使用した SR-MPLS カスタム QoS ポリシー (27 ページ)

#### 手順

次のような情報が表示されます。

```
<polUni>
<fvTenant name="infra">
    <mplsIfPol name="default"/>
    <mplsLabelPol name="default" >
      <mplsSrgbLabelPol minSrgbLabel="16000" maxSrgbLabel="17000" localId="1" status=""/>
    </mplsLabelPol>
<l3extOut name="mplsOut" status="" descr="bl" mplsEnabled="yes">
    <l3extRsEctx tnFvCtxName="overlay-1"/>
    <l3extProvLbl name="mpls" />
    <mplsExtP status="" >
        <mplsRsLabelPol tDn="uni/tn-infra/mplslabelpol-default"/>
    </mplsExtP>
    <l3extLNodeP name="mplsLNP" status="">
        <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="100.1.1.1" rtrIdLoopBack="no"
tDn="topology/pod-1/node-101" status="">
            <l3extLoopBackIfP addr="10.10.10.11" status="">
                <mplsNodeSidP sidoffset="2" loopbackAddr="10.1.3.11" status=""/>
            </l3extLoopBackIfP>
        </l3extRsNodeL3OutAtt>
        <l3extLIfP name="mplsLIfP1" status="">
            <mplsIfP status="">
                <mplsRsIfPol tnMplsIfPolName="default" />
```

```
</mplsIfP>
            <l3extRsPathL3OutAtt addr="34.1.2.3/30" ifInstT="13-port"
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/8]">
                <bgpPeerP addr="9.9.9.7" addrTCtrl="af-ucast,af-label-ucast"</pre>
ctrl="send-ext-com" ttl="1" status="">
                    <bgpAsP asn="100"/>
                </bgpPeerP>
            </l3extRsPathL3OutAtt>
        </l3extLIfP>
        <bgpInfraPeerP addr="20.1.1.1" ctrl="send-com,send-ext-com" peerT="sr-mpls"</pre>
ttl="3" status="" >
            <bgpAsP asn="100"/>
        </bopinfraPeerP>
    </l3extLNodeP>
    <l3extInstP name="mplsInstP">
        <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="11.11.11.0/24" name=""
scope="import-security"/>
    </l3extInstP>
    <bqpExtP/>
    <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-l3extDom1" />
</l3extOut>
</fvTenant>
</polUni>
```

### REST API を使用した SR-MPLS VRF L3Out の設定

この項の手順を使用して、SR-MPLS VRF L3Out を設定します。これは、前の手順で設定した SR-MPLS インフラ L3Out からのトラフィックの転送に使用されます。

- ユーザテナント VRF は SR-MPLS インフラ L3Out にマッピングされ、テナント ブリッジ ドメイン サブネットを DC-PE ルータにアドバタイズし、DC-PE から受信した MPLS VPN ルートをインポートします。
- 各 VRF の SR-MPLS VRF L3Out でルーティング ポリシーとセキュリティ ポリシーを指定 する必要があります。これらのポリシーは、1 つ以上の SR-MPLS インフラ L3Out をポイ ントします。
- VRF ごとに 1 つの SR-MPLS VRF L3Out がサポートされます。
- 1つの SR-MPLS VRF L3Out で複数のコンシューマ ラベルを設定でき、各コンシューマ ラベルで1つの SR-MPLS インフラ L3Out を識別できます。コンシューマ ラベルは、特定の ポッドまたはリモート リーフ スイッチの特定の MPLS ドメインである1つの SR-MPLS VRF L3Out との間のトラフィックのエントリ ポイントと出口ポイントを識別します。

始める前に

• SR-MPLS のガイドラインおよび制限事項で提供されている SR-MPLS ガイドラインと制 約事項を確認します。特に、SR-MPLS VRF L3Out のガイドラインと制約事項で提供され ているガイドラインと制約事項を確認してください。 • REST API を使用した SR-MPLS インフラ L3Out の設定 (23 ページ)の手順に従って、 SR-MPLS インフラ L3Out を設定します。

#### 手順

次のような情報が表示されます。

```
<polUni>
<fvTenant name="t1">
 <fvCtx name="v1">
    <!-- specify bgp evpn route-target -->
    <bgpRtTargetP af="ipv4-ucast">
      <bgpRtTarget rt="route-target:as4-nn2:100:1259" type="import"/>
      <bgpRtTarget rt="route-target:as4-nn2:100:1259" type="export"/>
    </bgpRtTargetP>
  </fvCtx>
  <!-- MPLS L3out -->
  <l3extOut name="out1" mplsEnabled="yes">
    <l3extRsEctx tnFvCtxName="v1" />
   <!-- MPLS consumer label -->
   <l3extConsLbl name="mpls1">
     <!-- route profile association -->
      <l3extRsLblToProfile tDn="uni/tn-t1/prof-rp1" direction="export" />
     <!-- InstP association -->
     <l3extRsLblToInstP tDn="uni/tn-t1/out-out1/instP-epgMpls1" />
    </l3extConsLbl>
    <!-- External-EPG -->
    <l3extInstP name="epgMpls1">
     <fvRsProv tnVzBrCPName="cp1"/>
      <l3extSubnet ip="55.1.1.1/28"/>
    </l3extInstP>
    <body><body><br/><body>
  </l3extOut>
 <!-- route control profile -->
  <rtctrlProfile descr="" name="rp1" type="global" status="">
   <rtctrlCtxP action="permit" descr="" name="ctx1" order="0">
      <rtctrlRsCtxPToSubjP status="" tnRtctrlSubjPName="subj1"/>
   </rtctrlCtxP>
  </rtctrlProfile>
  <rtctrlSubjP descr="" name="subj1" status="" >
    <rtctrlMatchRtDest ip="101.1.1.1/32"/>
    <rtctrlMatchRtDest ip="102.1.1.0/24" aggregate="yes"/>
  </rtctrlSubjP>
 <!-- Filter and Contract (global) -->
  <vzBrCP name="cp1" scope="global">
   <vzSubj name="allow-all">
      <vzRsSubjFiltAtt action="permit" tnVzFilterName="default" />
   </vzSubj>
 </vzBrCP>
</fvTenant>
</polUni>
```

#### REST API を使用した SR-MPLS カスタム QoS ポリシー

SR MPLS カスタム QoS ポリシーは、MPLS QoS 出力 ポリシーで定義された着信 MPLS EXP 値 に基づいて、SR-MPLS ネットワークから送信されるパケットのプライオリティを定義します。 これらのパケットは、ACI ファブリック内にあります。また、MPLS QoS 出力ポリシーで定義 された IPv4 DSCP 値に基づく MPLS インターフェイスを介して ACI ファブリックから離れる パケットの CoS 値および MPLS EXP 値をマーキングします。

カスタム出力ポリシーが定義されていない場合、デフォルトのQosレベル(Level3)がファブ リック内のパケットに割り当てられます。カスタム出力ポリシーが定義されていない場合、デ フォルトの EXP 値(0)がファブリックから離れるパケットにマーキングされます。

#### 手順

ステップ1 SR-MPLS QoS ポリシーの作成

次のPOSTで、

- customqos1を、作成する SR-MPLS QoS ポリシーの名前に置き換えます。
- qosMplsIngressRuleの場合:
  - from = "2" to = "3"を、ポリシーに一致させる EXP 範囲に置き換えます。
  - ・prio = "level5"を ACI ファブリック内にあるパケットの ACI QoS レベルに置き換えます。
  - target = "CS5" は、パケットが一致したときに設定する DSCP 値に置き換えます。
  - targetCos = "4" を、パケットが一致したときにパケットに設定する CoS 値に置き換えます。
- qosMplsEgressRule の場合:
  - from = "CS2" to = "CS4" を、ポリシーを照合する DSCP 範囲に置き換えます。
  - targetExp = "5" を、パケットがファブリックを離れるときに設定する EXP 値に置き換えます。
  - targetCos = "3" を、パケットがファブリックを離れるときに設定する CoS 値に置き換えます。

```
<polUni>
  <fvTenant name="infra">
      <fvTenant name="infra">
      <fvTenant name="infra">
      <gosMplsCustomPol descr="" dn="uni/tn-infra/qosmplscustom-customqos1" name="customqos1"
      status="" >
           <gosMplsIngressRule from="2" to="3" prio="level5" target="CS5" targetCos="4"
      status="" />
           <gosMplsEgressRule from="CS2" to="CS4" targetExp="5" targetCos="3" status=""/>
           </gosMplsCustomPol>
      </fvTenant>
</polUni>
```

ステップ2 SR-MPLS QoS ポリシーの作成

次の POST で、customqos1 を前の手順で作成した SR-MPLS QoS ポリシーの名前に置き換えま す。 <polUni> <fvTenant name="infra"> <l3extOut name="mplsOut" status="" descr="bl"> <l3extLNodeP name="mplsLNP" status=""> <l3extLNodeP name="mplsLNP" status=""> <l3extRsLNodePMplsCustQosPol tDn="uni/tn-infra/qosmplscustom-customqos1"/> </l3extLNodeP> </l3extOut> </fvTenant> </polUni>

パートII:外部ルーティング(L30ut)の設定

外部ネットワークへのルーテッド接続

REST API を使用した MP-BGP ルート リフレクタの設定

REST API を使用した MP-BGP ルート リフレクタの設定

手順

**ステップ1** スパイン スイッチをルート リフレクタとしてマークします。

#### 例:

POST https://apic-ip-address/api/policymgr/mo/uni/fabric.xml
<bgpInstPol name="default">

```
<br/>
<bgpAsP asn="1" />
<bgpRRP>
<bgpRRNodePEp id="<spine_id1>"/>
<bgpRRNodePEp id="<spine_id2>"/>
</bgpRRP>
</bgpInstPol>
```

ステップ2 次のポストを使用してポッドセレクタをセットアップします。

例: FuncPセットアップの場合: POST https://apic-ip-address/api/policymgr/mo/uni.xml <fabricFuncP> <fabricFodPGrp name="bgpRRPodGrp"> <fabricFodPGrp name="bgpRRPodGrp"> <fabricRsPodPGrpBGPRRP tnBgpInstPolName="default" />

```
</fabricPodPGrp>
</fabricFuncP>
例:
PodPセットアップの場合:
POST https://apic-ip-address/api/policymgr/mo/uni.xml
<fabricPodP name="default">
<fabricPodP name="default">
<fabricPodP name="default">
<fabricPodS name="default" type="ALL">
<fabricRsPodPGrp tDn="uni/fabric/funcprof/podpgrp-bgpRRPodGrp"/>
</fabricPodP>
```

### REST API を使用したループ防止のための BGP ドメイン パス機能の設定

#### 始める前に

ループ防止のための BGP ドメインパス機能についてに記載されている情報を使用して、BGP ドメイン パス機能に精通します。

手順

ステップ1 ループ防止に BGP ドメイン パス機能を使用する場合は、グローバル DomainIdBase を設定します。

```
<polUni>
<fabricInst>
<bgpInstPol name="default">
<bgpDomainIdBase domainIdBase="12346" />
</bgpInstPol>
</fabricInst>
</polUni>
```

ステップ2 適切な L3Out で send-domain-path を有効にします。

<br/>

### L3Out のノードとインターフェイス

## REST API を使用したレイヤ 3 ルーテッド ポート チャネルとサブインターフェイス ポート チャネルの設定

REST API を使用したレイヤ3 ルーテッド ポート チャネルの設定

#### 始める前に

- ACIファブリックが設置され、APICコントローラがオンラインになっており、APICクラ スタが形成されて正常に動作していること。
- ・必要なファブリックインフラストラクチャ設定を作成できるAPICファブリック管理者アカウントが使用可能であること。
- ターゲット リーフ スイッチが ACI ファブリックに登録され、使用可能であること。
- ポートチャネルは、L3Outインターフェイスにポートチャネルが使用される場合に設定されます。

(注)

次の REST API 例では、長い1行のテキストは\で分けて読みやすくします。

手順

REST API を使用して以前作成したポート チャネルにレイヤ 3 ルートを設定するには、次のように XML で post を送信します。

```
<polUni>
<fvTenant name=pep9>
   xtOut descr="" dn="uni/tn-pep9/out-routAccounting" enforceRtctrl="export" \
    name="routAccounting" nameAlias="" ownerKey="" ownerTag="" \
    targetDscp="unspecified">
       <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-Dom1"/>
       <l3extRsEctx tnFvCtxName="ctx9"/>
       xtLNodeP configIssues="" descr="" name="node101" nameAlias="" ownerKey="" \
        ownerTag="" tag="yellow-green" targetDscp="unspecified">
           <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="10.1.0.101" rtrIdLoopBack="yes" \
            tDn="topology/pod-1/node-101">
              <l3extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="no" \
               fabricExtIntersiteCtrlPeering="no" name="" nameAlias="" spineRole=""/>
           </l3extRsNodeL3OutAtt>
           tag="yellow-green">
              <ospfIfP authKeyId="1" authType="none" descr="" name="" nameAlias="">
                  <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName=""/>
              </ospfIfP>
              <l3extRsPathL3OutAtt addr="10.1.5.3/24" autostate="disabled" descr="" \
               encap="unknown" encapScope="local" ifInstT="l3-port" llAddr="::" \
```

```
mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit" \
               tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[po17_PolGrp]" \
               targetDscp="unspecified"/>
              <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
              <l3extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
              <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
           </13extLTfP>
       </l3extLNodeP>
       <l3extInstP descr="" floodOnEncap="disabled" matchT="AtleastOne" \
        name="accountingInst" nameAlias="" prefGrMemb="exclude" prio="unspecified" \
        targetDscp="unspecified">
           <fvRsProv matchT="AtleastOne" prio="unspecified" tnVzBrCPName="webCtrct"/>
          <l3extSubnet aggregate="export-rtctrl,import-rtctrl" descr="" ip="0.0.0.0/0"
           name="" nameAlias="" scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
           <l3extSubnet aggregate="export-rtctrl, import-rtctrl" descr="" ip="::/0" \
           name="" nameAlias="" scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
           <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
       </l3extInstP>
       ownerTag="" tag="yellow-green"/>
   </l3extOut>
</fvTenant>
</polUni>
```

REST API を使用して、レイヤ3サブインターフェイスポート チャネルの設定

#### 始める前に

- ACIファブリックが設置され、APICコントローラがオンラインになっており、APICクラ スタが形成されて正常に動作していること。
- 必要なファブリックインフラストラクチャ設定を作成できるAPICファブリック管理者ア カウントが使用可能であること。
- ターゲット リーフ スイッチが ACI ファブリックに登録され、使用可能であること。
- ポートチャネルは、「REST API を使用したポートチャネルの設定」の手順を使用して設定されます。

(注) 次の REST API 例では、1 つ以上の行のテキストはで区分するが、\読みやすさを改善する文字。

手順

REST API を使用して、以前に作成したポート チャネルをレイヤ3 サブインターフェイス ルートを設定するには、次のようには、XML で post を送信します。

```
<polUni>
<fvTenant name=pep9>
   name="routAccounting" nameAlias="" ownerKey="" ownerTag="" targetDscp="unspecified">
      <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-Dom1"/>
      <l3extRsEctx tnFvCtxName="ctx9"/>
      ownerTag="" tag="yellow-green" targetDscp="unspecified">
          <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="10.1.0.101" rtrIdLoopBack="yes" \
           tDn="topology/pod-1/node-101">
             <l3extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="no" \
              fabricExtIntersiteCtrlPeering="no" name="" nameAlias="" spineRole=""/>
          </l3extRsNodeL3OutAtt>
          tag="yellow-green">
             <ospfIfP authKeyId="1" authType="none" descr="" name="" nameAlias="">
                <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName=""/>
             </ospfIfP>
             <l3extRsPathL3OutAtt addr="11.1.5.3/24" autostate="disabled" descr="" \
              encap="vlan-2001" encapScope="local" ifInstT="sub-interface" \
              11Addr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit" \
              tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[po27 PolGrp]" \
              targetDscp="unspecified"/>
             <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
             <l3extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
             <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
          </l3extLIfP>
      </l3extLNodeP>
      <l3extInstP descr="" floodOnEncap="disabled" matchT="AtleastOne" \
       name="accountingInst" nameAlias="" prefGrMemb="exclude" prio="unspecified" \
       targetDscp="unspecified">
          <fvRsProv matchT="AtleastOne" prio="unspecified" tnVzBrCPName="webCtrct"/>
         xtSubnet aggregate="export-rtctrl,import-rtctrl" descr="" ip="0.0.0.0/0"
          name="" nameAlias="" scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
          xtSubnet aggregate="export-rtctrl, import-rtctrl" descr="" ip="::/0" \
          name="" nameAlias="" scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
          <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
      </l3extInstP>
      ownerTag="" tag="yellow-green"/>
   </l3extOut>
</fvTenant>
</polUni>
```

### REST API を使用したスイッチ仮想インターフェイスの設定

REST API を使用して、SVI インターフェイスのカプセル化スコープの設定

#### 始める前に

インターフェイスセレクタが設定されます。

手順

```
例:
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- /api/node/mo/.xml -->
<polUni>
<fvTenant name="coke">
 nameAlias="" ownerKey="" ownerTag="" targetDscp="unspecified">
  <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-Dom1"/>
  <l3extRsEctx tnFvCtxName="vrf0"/>
  xtLNodeP configIssues="" descr="" name=" ui node_101" nameAlias="" ownerKey=""
ownerTag="" tag="yellow-green" targetDscp="unspecified">
   xtRsNodeL30utAtt rtrId="1.1.1.1" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-1/node-101"/>
   <l3extLIfP descr="" name="int1 11" nameAlias="" ownerKey="" ownerTag=""
tag="yellow-green">
    xtRsPathL3OutAtt addr="1.2.3.4/24" descr="" encap="vlan-2001" encapScope="ctx"
ifInstT="ext-svi" llAddr="0.0.0.0" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit"
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/5]" targetDscp="unspecified"/>
    <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
    <l3extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
    <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
   </l3extLTfP>
  </l3extLNodeP>
  prio="unspecified" targetDscp="unspecified">
   <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="101.10.10.1/24" name="" nameAlias=""
scope="import-security"/>
   <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
  </l3extInstP>
 </l3extOut>
</fvTenant>
</polUni>
```

#### REST API を使用した SVI 自動状態の設定

#### 始める前に

・テナントと VRF が設定されています。

SVIインターフェイスのカプセル化の範囲を設定します。

 レイヤ3アウトが設定されており、レイヤ3アウトの論理ノードプロファイルと論理イン ターフェイスプロファイルが設定されています。

手順

SVIの自動状態の値を有効にします。

### REST API を使用したルーティング プロトコルの設定

#### REST API を使用した BFD サポート付き BGP 外部ルーテッド ネットワークの設定

REST API を使用した BGP 外部ルーテッド ネットワークの設定

#### 始める前に

外部ルーテッドネットワークを設定するテナントがすでに作成されていること。

ここでは、REST API を使用して BGP 外部ルーテッド ネットワークを設定する方法を示します。

例:

手順

```
targetDscp="unspecified">
   <bgpPeerP addr="3001::31:0:1:0/120" allowedSelfAsCnt="3" ctrl="send-com,send-ext-com"</pre>
 descr="" name="" peerCtrl="bfd" privateASctrl="remove-all,remove-exclusive,replace-as"
 ttl="1" weight="1000">
    <bgpRsPeerPfxPol tnBgpPeerPfxPolName=""/>
     <bgpAsP asn="3001" descr="" name=""/>
    </bgpPeerP>
  </l3extRsPathL3OutAtt>
  </l3extLIfP>
  xtLIfP descr="" name="l3extLIfP_1" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
   <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
   <l3extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
  <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
  xtRsPathL3OutAtt addr="31.0.1.2/24" descr="" encap="vlan-3001" encapScope="local"
ifInstT="sub-interface" llAddr=":: mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit"
 tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/8]" targetDscp="unspecified">
    <bgpPeerP addr="31.0.1.0/24" allowedSelfAsCnt="3" ctrl="send-com,send-ext-com"</pre>
descr="" name="" peerCtrl="" privateASctrl="remove-all,remove-exclusive,replace-as"
ttl="1" weight="100">
     <bgpRsPeerPfxPol tnBgpPeerPfxPolName=""/>
     <bgpLocalAsnP asnPropagate="none" descr="" localAsn="200" name=""/>
     <bgpAsP asn="3001" descr="" name=""/>
    </bgpPeerP>
  </l3extRsPathL3OutAtt>
  </l3extLIfP>
 </l3extLNodeP>
 <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/13dom-13-dom"/>
 xtRsDampeningPol af="ipv6-ucast" tnRtctrlProfileName="damp rp"/>
 <l3extRsDampeningPol af="ipv4-ucast" tnRtctrlProfileName="damp rp"/>
 xtInstP descr="" matchT="AtleastOne" name="l3extInstP 1" prio="unspecified"
targetDscp="unspecified">
  <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="130.130.130.0/24" name=""
scope="import-rtctrl"></l3extSubnet>
 xtSubnet aggregate="" descr="" ip="130.130.131.0/24" name="" scope="import-rtctrl"/>
  <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="120.120.120.120/32" name=""
scope="export-rtctrl,import-security"/>
  :130:130:130:100/120" name=""
scope="import-rtctrl"/>
 </l3extInstP>
<bgpExtP descr=""/>
</l3extOut>
<rtctrlProfile descr="" dn="uni/tn-t1/prof-damp rp" name="damp rp" ownerKey="" ownerTag=""</pre>
type="combinable">
 <rtctrlCtxP descr="" name="ipv4 rpc" order="0">
 <rtctrlScope descr="" name="">
  <rtctrlRsScopeToAttrP tnRtctrlAttrPName="act rule"/>
 </rtctrlScope>
 </rtctrlCtxP>
</rtctrlProfile>
<rtctrlAttrP descr="" dn="uni/tn-t1/attr-act rule" name="act rule">
<rtctrlSetDamp descr="" halfLife="15" maxSuppressTime="60" name="" reuse="750"</pre>
suppress="2000" type="dampening-pol"/>
</rtctrlAttrP>
```

#### REST API を使用した BGP パスの設定

次のフィールドの許容値については、Cisco APIC ドキュメンテーションページの『Verified Scalability Guide for Cisco APIC』を参照してください。https://www.cisco.com/c/en/us/support/

cloud-systems-management/application-policy-infrastructure-controller-apic/ tsd-products-support-series-home.html

さらに多くのパスを設定できるようにする2つのプロパティは、bgpCtxAfPol オブジェクトの maxEcmp と maxEcmpIbgp です。これら2つのプロパティを設定した後、実装の残り部分に反 映されます。ECMP ポリシーは VRF レベルで適用されます。

次の例では、REST API を使用して BGP 最長パス機能を設定する方法の情報を提供します。

```
<fvTenant descr="" dn="uni/tn-t1" name="t1">
   <fvCtx name="v1">
       <fvRsCtxToBgpCtxAfPol af="ipv4-ucast" tnBgpCtxAfPolName="bgpCtxPol1"/>
   </fvCtx>
   <bgpCtxAfPol name="bgpCtxPol1" maxEcmp="64" maxEcmpIbgp="64"/>
</fvTenant>
```

#### REST API を使用した AS パス プリペンドの設定

次の例では、REST API を使用した AS パス プリペンド機能を設定する方法の情報を提供しま す。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<fvTenant name="coke">
    <rtctrlAttrP name="attrp1">
       <rtctrlSetASPath criteria="prepend">
           <rtctrlSetASPathASN asn="100" order="1"/>
            <rtctrlSetASPathASN asn="200" order="10"/>
            <rtctrlSetASPathASN asn="300" order="5"/>
        <rtctrlSetASPath/>
        <rtctrlSetASPath criteria="prepend-last-as" lastnum="9" />
    </rtctrlAttrP>
    <l3extOut name="out1">
       <rtctrlProfile name="rp1">
            <rtctrlCtxP name="ctxp1" order="1">
                <rtctrlScope>
                    <rtctrlRsScopeToAttrP tnRtctrlAttrPName="attrp1"/>
                </rtctrlScope>
            </rtctrlCtxP>
        </rtctrlProfile>
    </l3extOut>
</fvTenant>
```

REST API を使用した自律システム オーバーライド対応のネットワークのルーティング BGP 外部の設定

手順

自律型オー	-バーライドを有効にして、BGP 外部ルーテッド ネットワークを設定します。
(注)	太字で表示されているコードの行に設定の BGP AS オーバーライド部分が表示
	されます。この機能は Cisco APIC リリース 3.1(2m) で導入されました。

例:
```
<fvTenant name="coke">
  <fvCtx name="coke" status="">
      <bgpRtTargetP af="ipv4-ucast">
          <bgpRtTarget type="import" rt="route-target:as4-nn2:1234:1300" />
          <bgpRtTarget type="export" rt="route-target:as4-nn2:1234:1300" />
      </bgpRtTargetP>
      <bgpRtTargetP af="ipv6-ucast">
          <bgpRtTarget type="import" rt="route-target:as4-nn2:1234:1300" />
          <bgpRtTarget type="export" rt="route-target:as4-nn2:1234:1300" />
      </bgpRtTargetP>
  </fvCtx>
  <fvBD name="cokeBD">
      <!-- Association from Bridge Doamin to Private Network -->
      <fvRsCtx tnFvCtxName="coke" />
      <fvRsBDToOut tnL3extOutName="routAccounting" />
      <!-- Subnet behind the bridge domain-->
      <fvSubnet ip="20.1.1.1/16" scope="public"/>
      <fvSubnet ip="2000:1::1/64" scope="public"/>
  </fvBD>
  <fvBD name="cokeBD2">
      <!-- Association from Bridge Doamin to Private Network -->
      <fvRsCtx tnFvCtxName="coke" />
      <fvRsBDToOut tnL3extOutName="routAccounting" />
      <!-- Subnet behind the bridge domain-->
      <fvSubnet ip="30.1.1.1/16" scope="public"/>
  </fvBD>
  <vzBrCP name="webCtrct" scope="global">
      <vzSubj name="http">
          <vzRsSubjFiltAtt tnVzFilterName="default"/>
      </vzSubi>
  </vzBrCP>
  <!-- GOLF L3Out -->
  <l3extOut name="routAccounting">
     <l3extConsLbl name="golf transit" owner="infra" status=""/>
     <body>
     <l3extInstP name="accountingInst">
         <!--
         <l3extSubnet ip="192.2.2.0/24" scope="import-security,import-rtctrl" />
         <l3extSubnet ip="192.5.2.0/24" scope="export-rtctrl"/>
         <l3extSubnet ip="64:ff9b::c007:200/120" scope="export-rtctrl" />
         -->
         <l3extSubnet ip="0.0.0.0/0"
                               scope="export-rtctrl,import-security"
                               aggregate="export-rtctrl"
         />
         <fvRsProv tnVzBrCPName="webCtrct"/>
     </l3extInstP>
     <l3extRsEctx tnFvCtxName="coke"/>
  </l3extOut>
   <fvAp name="cokeAp">
     <fvAEPg name="cokeEPg" >
         <fvRsBd tnFvBDName="cokeBD" />
         <fvRsPathAtt tDn="topology/pod-1/paths-103/pathep-[eth1/20]" encap="vlan-100"
instrImedcy="immediate" mode="regular"/>
```

```
<fvRsCons tnVzBrCPName="webCtrct"/>
     </fvAEPa>
     <fvAEPg name="cokeEPg2" >
         <fvRsBd tnFvBDName="cokeBD2" />
         <fvRsPathAtt tDn="topology/pod-1/paths-103/pathep-[eth1/20]" encap="vlan-110"
 instrImedcy="immediate" mode="regular"/>
           <fvRsCons tnVzBrCPName="webCtrct"/>
     </fvAEPq>
   </fvAp>
   <!-- Non GOLF L3Out-->
   <l3extOut name="NonGolfOut">
      <bgpExtP/>
      <l3extLNodeP name="bLeaf">
          <!--
          <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="20.1.13.1"/>
          -->
          <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="20.1.13.1">
          <l3extLoopBackIfP addr="1.1.1.1"/>
          <ipRouteP ip="2.2.2.2/32" >
            <ipNexthopP nhAddr="20.1.12.3"/>
     </ipRouteP>
       </l3extRsNodeL3OutAtt>
          <l3extLIfP name='portIfV4'>
              <l3extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/17]"
encap='vlan-1010' ifInstT='sub-interface' addr="20.1.12.2/24">
              </l3extRsPathL3OutAtt>
          </l3extLTfP>
          <l3extLIfP name='portIfV6'>
              <l3extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/17]"
encap='vlan-1010' ifInstT='sub-interface' addr="64:ff9b::1401:302/120">
                  <bgpPeerP addr="64:ff9b::1401:d03" ctrl="send-com,send-ext-com" />
              </l3extRsPathL3OutAtt>
          </13extLTfP>
          <bgpPeerP addr="2.2.2.2" ctrl="as-override,disable-peer-as-check,</pre>
send-com,send-ext-com" status=""/>
      </l3extLNodeP>
      <!--
       <bgpPeerP addr="2.2.2.2" ctrl="send-com,send-ext-com" status=""/>
       -->
      <l3extInstP name="accountingInst">
          xtSubnet ip="192.10.0.0/16" scope="import-security,import-rtctrl" />
          <l3extSubnet ip="192.4.2.0/24" scope="import-security,import-rtctrl" />
         scope="import-security,import-rtctrl"
 />
          <l3extSubnet ip="192.2.2.0/24" scope="export-rtctrl" />
          <l3extSubnet ip="0.0.0.0/0"
                              scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"
                              aggregate="export-rtctrl,import-rtctrl"
         />
      </l3extInstP>
     <l3extRsEctx tnFvCtxName="coke"/>
  </l3extOut>
</fvTenant>
```

#### REST API を使用した BGP ネイバー シャットダウンおよびソフト リセットの設定

REST API を使用した BGP ネイバー シャットダウンの設定

次の手順では、REST APIを使用して BGP ネイバーシャットダウン機能を使用する方法につい て説明します。

#### 手順

**ステップ1** ノードおよびインターフェイスを設定します。

この例では、ノードプロファイル、nodep1、ルータ ID 11.11.11.103 を持つノード 103 (境界 リーフスイッチ)上で、VRF v1 を設定します。.また、IP アドレス 12.12.12.1/24 およびレイ ヤ3ドメイン dom1 で、ルーテッドインターフェイス (レイヤ3ポート)としてインターフェ イス eth1/3 を設定します。

#### 例:

ステップ2 BGP ルーティング プロトコルを設定し、BGP ネイバー シャットダウン機能を設定します。

この例では、IPアドレス、15.15.15.2、ASN 100を持つ BGP ピアで、プライマリルーティン グプロトコルとして BGP を設定します。

adminSt 変数は、次のいずれかに設定できます。

- enabled: BGP ネイバーシャットダウン機能をイネーブルにします。
- disabled: BGP ネイバーシャットダウン機能を無効にします。

次の例では、BGP ネイバー シャットダウン機能がイネーブルになっています。

```
<l3extOut name="l3out1">
<l3extLNodeP name="nodep1">
<bgpPeerP addr="l5.15.15.2"> adminSt="enabled"
<bgpAsP asn="l00"/>
</bgpPeerP>
</l3extLNodeP>
```

<bgpExtP/></l3extOut>

REST API を使用した BGP ネイバー ソフト リセットの設定

次の手順では、REST API を使用して BGP ネイバー ソフト リセット機能を使用する方法について説明します。

#### 手順

**ステップ1** ノードおよびインターフェイスを設定します。

この例では、ノードプロファイル、nodep1、ルータ ID 11.11.11.103 を持つノード 103 (境界 リーフスイッチ)上で、VRF v1 を設定します。.また、IP アドレス 12.12.12.1/24 およびレイ ヤ3 ドメイン dom1 で、ルーテッドインターフェイス (レイヤ3 ポート)としてインターフェ イス eth1/3 を設定します。

#### 例:

**ステップ2** BGP ルーティング プロトコルを設定し、BGP ネイバー ソフト リセット機能を設定します。

この例では、IP アドレス、15.15.15.2、ASN 100 を持つ BGP ピアで、プライマリ ルーティン グ プロトコルとして BGP を設定します。

dir 変数は、次のいずれかに設定できます。

- in: ソフト ダイナミック インバウンド リセットを有効にします。
- out: ソフト アウトバウンド リセットを有効にします。

次の例では、ソフトダイナミックインバウンドリセットが有効になっています。

```
<l3extOut name="l3out1">
<l3extLNodeP name="nodep1">
<bgpPeerP addr="l5.15.15.2">
<bgpAsP asn="l00"/>
<bgpPeerEntryClearPeerLTask>
<attributes>
<mode>soft</mode>
<dir>in</dir>
```

#### <adminSt>start</adminSt>

</attributes> <children/> </bgpPeerEntryClearPeerLTask> </bgpPeerP> </l3extLNodeP> <bgpExtP/> </l3extOut>

#### REST API を使用した VRF ごと、ノード BGP ごとのタイマーの設定

次の例では、ノード内の VRF ごと、ノード BGP ごとのタイマーの設定方法を示します。 bgpProtP(13extLNodePの下)を設定します。bgpProtPの下で、目的とする関係 (bgpRsBgpNodeCtxPol)を設定します。これは、BGP コンテキスト ポリシー(bgpCtxPol)に対す るものです。

#### 手順

node1 でノード固有の BGP タイマー ポリシーを設定し、node2 を、ノード固有ではない BGP タイマー ポリシーで設定します。

#### 例:

POST https://apic-ip-address/mo.xml

この例では、node1 は BGP タイマー値をポリシー pol2 から取得し、node2 は BGP タイマー値 を pol1 から取得します。タイマー値は bgpDom に適用されますが、これは VRF tn1:ctx1 に対 応しています。これは、「VRF ごと、ノード BGP ごとのタイマーの値」のセクションで説明 したアルゴリズムに従って選択された、BGP タイマー ポリシーに基づきます。

#### 削除するノード BGP タイマーが REST API を使用してごとの VRF あたり

次の例では、ノード内で既存の VRF ごとの各ノード BGP タイマーを削除する方法を示します。

#### 手順

node1 で特定の BGP タイマー ポリシーのノードを削除します。

#### 例:

POST https://apic-ip-address/mo.xml

上の例のコードフレーズ <bgpProtP name="protp1" status="deleted" > は、BGP タイマーポ リシーを削除します。削除後、node1 が node1 が関連付けられている VRF の BGP タイマーポ リシーのデフォルト設定になります。上の例では pol1 です。

#### REST API を使用したセカンダリ IP アドレスでの双方向フォワーディング検出の構成

次の例では、REST API を使用して、セカンダリ IP アドレスに Bidirectional Forwarding Detection (BFD)を構成します。

```
<l3extLIfP
 dn="uni/tn-sec-ip-bfd/out-secip-bfd-l3out/lnodep-secip-bfd-l3out nodeProfile/
 lifp-secip-bfd-l3out interfaceProfile" name="secip-bfd-l3out interfaceProfile"
 prio="unspecified" tag="yellow-green" userdom=":all:">
   200/24" autostate="disabled"
     encap="vlan-2" encapScope="local" ifInstT="ext-svi" ipv6Dad="enabled"
     isMultiPodDirect="no" llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular"
     mtu="inherit" tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/3]"
     targetDscp="unspecified" userdom=":all:">
       <l3extIp addr="9.9.9.1/24" ipv6Dad="enabled" userdom=":all:"/>
       <l3extIp addr="6.6.6.1/24" ipv6Dad="enabled" userdom=":all:"/>
   </l3extRsPathL3OutAtt>
   <l3extRsNdIfPol userdom="all"/>
   <l3extRsLIfPCustOosPol userdom="all"/>
   <l3extRsIngressQosDppPol userdom="all"/>
   <l3extRsEgressQosDppPol userdom="all"/>
   <l3extRsArpIfPol userdom="all"/>
</l3extLIfP>
<ipRouteP aggregate="no"
 dn="uni/tn-sec-ip-bfd/out-secip-bfd-l3out/lnodep-secip-bfd-l3out nodeProfile/
 rsnodeL3OutAtt-[topology/pod-1/node-101]/rt-[6.0.0.1/24]"
 fromPfxLen="0" ip="6.0.0.1/24" pref="1" rtCtrl="bfd" toPfxLen="0" userdom=":all:">
```

<ipNexthopP nhAddr="6.6.6.2" pref="unspecified" type="prefix" userdom=":all:"/> </ipRouteP>

#### グローバル REST API を使用して BFD の設定

手順

次の REST API は、(BFD)を双方向フォワーディング検出のグローバル コンフィギュレーショ ンを示します。

例:

REST API を使用した BFD インターフェイスのオーバーライドの設定

手順

次の REST API は、(BFD) を双方向フォワーディング検出のインターフェイスのオーバーライ ドコンフィギュレーションを示します。

```
<fvTenant name="ExampleCorp">
  <bfdIfPol name="bfdIfPol" minTxIntvl="400" minRxIntvl="400" detectMult="5"</pre>
echoRxIntvl="400" echoAdminSt="disabled"/>
    <l3extOut name="l3-out">
        <l3extLNodeP name="leaf1">
            <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="2.2.2.2"/>
            <l3extLIfP name='portIpv4'>
                <l3extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/11]"
ifInstT='l3-port' addr="10.0.0.1/24" mtu="1500"/>
                <bfdIfP type="sha1" key="password">
                    <bfdRsIfPol tnBfdIfPolName='bfdIfPol'/>
                </bfdIfP>
            </l3extLIfP>
        </l3extLNodeP>
    </13extOut>
</fvTenant>
```

#### REST API を使用した BFD コンシューマ プロトコルの設定

#### 手順

```
ステップ1 次の例では、双方向の転送検出(BFD)のインターフェイス設定を示します。
```

例:

```
</l3extLNodeP>
</l3extOut>
</fvTenant>
```

ステップ2 次の例では、OSPF および EIGRP で BFD を有効にするためのインターフェイス設定を示します。

#### 例:

リーフ スイッチ上の BFD

#### 例:

スパイン スイッチ上の BFD

<l3extLNodeP name="bSpine">

</l3extLNodeP>

ステップ3 次の例では、BGP上の BFD を有効にするためのインターフェイス設定を示します。

例:

</l3extLNodeP> </l3extOut> </fvTenant>

**ステップ4** 次の例では、スタティック ルートで BFD を有効にするためのインターフェイス設定を示します。

例:

リーフ スイッチ上の BFD

<fvTenant name="ExampleCorp"> <l3extOut name="l3-out"> <l3extLNodeP name="leaf1"> <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="2.2.2.2"> <ipRouteP ip="192.168.3.4" rtCtrl="bfd"> <ipRouteP ip="192.168.62.2"/> </ipRouteP> </l3extRsNodeL3OutAtt> <l3extRsNodeL3OutAtt> <l3extLIfP name='portIpv4'> <l3extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/3]" ifInstT='l3-port' addr="10.10.10.2/24" mtu="1500" status="created,modified" />

</l3extLIfP>

</l3extLNodeP>

</l3extOut> </fvTenant>

例:

スパイン スイッチ上の BFD

<l3extLNodeP name="bSpine">

```
ステップ5 次の例では、IS-IS で BFD を有効にするためのインターフェイス設定を示します。
```

```
<fabricInst>
         <l3IfPol name="testL3IfPol" bfdIsis="enabled"/>
             <fabricLeafP name="LeNode" >
 <fabricRsLePortP tDn="uni/fabric/leportp-leaf_profile" />
<fabricLeafS name="spsw" type="range">
<fabricNodeBlk name="node101" to ="102" from ="101" />
</fabricLeafS>
           </fabricLeafP>
          <fabricSpineP name="SpNode" >
<fabricRsSpPortP tDn="uni/fabric/spportp-spine profile" />
<fabricSpineS name="spsw" type="range">
    <fabricNodeBlk name="node103" to_="103" from_="103" />
</fabricSpineS>
        </fabricSpineP>
         <fabricLePortP name="leaf profile">
<fabricLFPortS name="leafIf" type="range">
<fabricPortBlk name="spBlk" fromCard="1" fromPort="49" toCard="1" toPort="49" />
      <fabricRsLePortPGrp tDn="uni/fabric/funcprof/leportgrp-LeTestPGrp" />
</fabricLEPortS>
       </fabricLePortP>
      <fabricSpPortP name="spine profile">
<fabricSFPortS name="spineIf" type="range">
      <fabricPortBlk name="spBlk" fromCard="5" fromPort="1" toCard="5" toPort="2" />
     <fabricRsSpPortPGrp tDn="uni/fabric/funcprof/spportgrp-SpTestPGrp" />
</fabricSFPortS>
    </fabricSpPortP>
<fabricFuncP>
               <fabricLePortPGrp name = "LeTestPGrp">
<fabricRsL3IfPol tnL3IfPolName="testL3IfPol"/>
               </fabricLePortPGrp>
            <fabricSpPortPGrp name = "SpTestPGrp">
<fabricRsL3IfPol tnL3IfPolName="testL3IfPol"/>
          </fabricSpPortPGrp>
</fabricFuncP>
```

</fabricInst>

### REST API を使用した OSPF 外部ルーテッド ネットワークの設定

#### REST API を使用した管理テナントの OSPF 外部ルーテッド ネットワークの作成

- ルータIDと論理インターフェイスプロファイルのIPアドレスが異なっていて重複していないことを確認します。
- 次の手順は、管理テナントのOSPF外部ルーテッドネットワークを作成するためのものです。テナントのOSPF外部ルーテッドネットワークを作成するには、テナントを選択し、 テナント用のVRFを作成する必要があります。
- 詳細については、『Cisco APIC and Transit Routing』を参照してください。

管理テナントの OSPF 外部ルーテッド ネットワークを作成します。

手順

```
例:
POST: https://apic-ip-address/api/mo/uni/tn-mgmt.xml
<fvTenant name="mgmt">
   <fvBD name="bd1">
     <fvRsBDToOut tnL3extOutName="RtdOut" />
     <fvSubnet ip="1.1.1.1/16" />
     <fvSubnet ip="1.2.1.1/16" />
     <fvSubnet ip="40.1.1.1/24" scope="public" />
      <fvRsCtx tnFvCtxName="inb" />
   </fvBD>
   <fvCtx name="inb" />
   <l3extOut name="RtdOut">
      <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/13dom-extdom"/>
      <l3extInstP name="extMgmt">
      </l3extInstP>
      <l3extLNodeP name="borderLeaf">
         <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="10.10.10.10"/>
         <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-102" rtrId="10.10.10.11"/>
        <l3extLIfP name='portProfile'>
           <l3extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/40]"
ifInstT='13-port' addr="192.168.62.1/24"/>
           <l3extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-102/pathep-[eth1/40]"
ifInstT='13-port' addr="192.168.62.5/24"/>
            <ospfIfP/>
                                </l3extLIfP>
      </l3extLNodeP>
      <l3extRsEctx tnFvCtxName="inb"/>
      <ospfExtP areaId="57" />
```

</l3extOut> </fvTenant>

# REST API を使用した EIGRP 外部ルーテッド ネットワークの設定

#### REST API を使用した EIGRP の設定

手順

ステップ1 EIGRP コンテキスト ポリシーを設定します。

#### 例:

ステップ2 EIGRP インターフェイス ポリシーを設定します。

#### 例:

</fvTenant> </polUni>

#### ステップ3 EIGRP VRF.を設定します。

例:

#### IPv4:

#### IPv6

```
<polUni>
  <fvTenant name="cisco_6">
      <fvCtx name="dev">
      <fvCtx name="dev">
      <fvRsCtxToEigrpCtxAfPol tnEigrpCtxAfPolName="eigrp_ctx_pol_v6" af="ipv6-ucast"/>
      </fucture>
```

</fvCtx>

```
</fvTenant>
           </polUni>
ステップ4 外部の EIGRP Layer3 を設定します。
           例:
          IPv4
           <polUni>
               <fvTenant name="cisco 6">
                  <l3extOut name="ext">
                       <eigrpExtP asn="4001"/>
                       <l3extLNodeP name="node1">
                          <l3extLIfP name="intf v4">
                              <l3extRsPathL3OutAtt addr="201.1.1.1/24" ifInstT="13-port"
                                 tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/4]"/>
                              <eigrpIfP name="eigrp ifp v4">
                                   <eigrpRsIfPol tnEigrpIfPolName="eigrp if pol v4"/>
                               </eigrpIfP>
                           </l3extLIfP>
                       </l3extLNodeP>
                  </l3extOut>
               </fvTenant>
           </polUni>
```

#### IPv6

```
<polUni>
    <fvTenant name="cisco 6">
        <l3extOut name="ext">
            <eigrpExtP asn="4001"/>
            <l3extLNodeP name="node1">
                <l3extLIfP name="intf v6">
                    <l3extRsPathL3OutAtt addr="2001::1/64" ifInstT="l3-port"
                      tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/4]"/>
                    <eigrpIfP name="eigrp ifp v6">
                        <eigrpRsIfPol tnEigrpIfPolName="eigrp if pol v6"/>
                    </eigrpIfP>
                </l3extLIfP>
            </l3extLNodeP>
        </l3extOut>
    </fvTenant>
</polUni>
```

#### IPv4 および IPv6

```
<polUni>
   <fvTenant name="cisco 6">
       <l3extOut name="ext">
            <eigrpExtP asn="4001"/>
            <l3extLNodeP name="node1">
                <l3extLIfP name="intf v4">
                    <l3extRsPathL3OutAtt addr="201.1.1.1/24" ifInstT="13-port"
                      tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/4]"/>
                    <eigrpIfP name="eigrp_ifp_v4">
                        <eigrpRsIfPol tnEigrpIfPolName="eigrp if pol v4"/>
                    </eigrpIfP>
                </l3extLIfP>
                <l3extLIfP name="intf v6">
                    <l3extRsPathL3OutAtt addr="2001::1/64" ifInstT="13-port"
                      tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/4]"/>
                    <eigrpIfP name="eigrp ifp v6">
                        <eigrpRsIfPol tnEigrpIfPolName="eigrp_if_pol_v6"/>
```

```
</eigrpIfP>
</l3extLIfP>
</l3extLNodeP>
</l3extOut>
</fvTenant>
</polUni>
```

**ステップ5** (任意) インターフェイス ポリシー ノブを設定します。

#### 例:

# **REST API** を使用したルート集約の設定

## BGP、OSPF、および REST API を使用して EIGRP のルート集約の設定

手順

```
ステップ1 次のように、REST API を使用して BGP ルート集約を設定します。
          例:
          <fvTenant name="common">
                     <fvCtx name="vrf1"/>
             <bgpRtSummPol name="bgp rt summ" cntrl='as-set'/>
             <l3extOut name="13_ext_pol" >
                       <l3extLNodeP name="bLeaf">
                          <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="20.10.1.1"/>
                        <l3extLIfP name='portIf'>
                        <l3extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/31]"
          ifInstT='13-port' addr="10.20.1.3/24/>
                        </l3extLIfP>
                     </l3extLNodeP>
                   <bgpExtP />
                     <l3extInstP name="InstP" >
                   <l3extSubnet ip="10.0.0.0/8" scope="export-rtctrl">
                     <l3extRsSubnetToRtSumm tDn="uni/tn-common/bgprtsum-bgp rt summ"/>
                     <l3extRsSubnetToProfile tnRtctrlProfileName="rtprof"/>
                   </l3extSubnet>
                 </l3extInstP>
                 <l3extRsEctx tnFvCtxName="vrf1"/>
             </l3extOut>
          </fvTenant>
```

ステップ2次のREST APIを使用して、OSPFのエリア間および外部の集約を設定します。

#### 例:

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<fvTenant name="t20">
 <!--Ospf Inter External route summarization Policy-->
 <ospfRtSummPol cost="unspecified" interAreaEnabled="no" name="ospfext"/>
  <!--Ospf Inter Area route summarization Policy-->
 <ospfRtSummPol cost="16777215" interAreaEnabled="yes" name="interArea"/>
 <fvCtx name="ctx0" pcEnfDir="ingress" pcEnfPref="enforced"/>
 <!-- L3OUT backbone Area-->
 targetDscp="unspecified">
   <l3extRsEctx tnFvCtxName="ctx0"/>
   <l3extLNodeP name="node-101">
     <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="20.1.3.2" rtrIdLoopBack="no"
tDn="topology/pod-1/node-101"/>
     <l3extLIfP name="intf-1">
      xtRsPathL3OutAtt addr="20.1.5.2/24" encap="vlan-1001" ifInstT="sub-interface"
 tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/33]"/>
     </l3extLIfP>
   </l3extLNodeP>
   <l3extInstP name="l3InstP1">
     <fvRsProv tnVzBrCPName="default"/>
     <!--Ospf External Area route summarization-->
     <l3extRsSubnetToRtSumm tDn="uni/tn-t20/ospfrtsumm-ospfext"/>
     </l3extSubnet>
   </l3extInstP>
   <ospfExtP areaCost="1" areaCtrl="redistribute,summary" areaId="backbone"</pre>
areaType="regular"/>
  </l3extOut>
 <!-- L3OUT Regular Area-->
 <l3extOut enforceRtctrl="export" name="13 2">
   <l3extRsEctx tnFvCtxName="ctx0"/>
   <l3extLNodeP name="node-101">
     <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="20.1.3.2" rtrIdLoopBack="no"
tDn="topology/pod-1/node-101"/>
     <l3extLIfP name="intf-2">
      <l3extRsPathL3OutAtt addr="20.1.2.2/24" encap="vlan-1014" ifInstT="sub-interface"
 tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/11]"/>
     </l3extLIfP>
   </13extLNodeP>
   <l3extInstP matchT="AtleastOne" name="13InstP2">
     <fvRsCons tnVzBrCPName="default"/>
     <!--Ospf Inter Area route summarization-->
     xtSubnet aggregate="" ip="197.0.0.0/8" name="" scope="export-rtctrl">
       <l3extRsSubnetToRtSumm tDn="uni/tn-t20/ospfrtsumm-interArea"/>
     </l3extSubnet>
   </l3extInstP>
   <ospfExtP areaCost="1" areaCtrl="redistribute,summary" areaId="0.0.0.57"</pre>
areaType="regular"/>
  </l3extOut>
</fvTenant>
```

```
ステップ3 次の REST API を使用して EIGRP の集約を設定します。
```

```
<fvTenant name="exampleCorp">
<l3extOut name="out1">
```

(注) EIGRPを設定するルート集約ポリシーはありません。EIGRPの集約を有効にするために必要なだけの設定では、サマリーサブネット、InstPでです。

# REST API を使用したルート マップおよびルート プロファイルによる ルート制御の設定

### REST API を使用した BGP ピアごとのルート制御の設定

次の手順では、REST APIを使用して BGP ピア単位のルート制御を設定する方法について説明 します。

手順

BGP ピアごとのルート制御機能を設定します。

ここで、

- direction="import"は、ルートインポートポリシー(ファブリックに許可されるルート)です。
- direction="export"は、ルートエクスポートポリシー(外部ネットワークからアドバタイ ズされるルート)です。

```
</l3extLNodeP>
            <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-dom1"/>
            <bgpExtP/>
            <ospfExtP areaId="0.0.0.0" areaType="regular"/>
            <l3extInstP name="extnw1" >
                <l3extSubnet ip="20.20.20.0/24" scope="import-security"/>
            </l3extInstP>
        </l3extOut>
        <rtctrlProfile name="rp1">
            <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                <rtctrlScope>
                    <rtctrlRsScopeToAttrP tnRtctrlAttrPName="attrp1"/>
                </rtctrlScope>
                <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule1"/>
            </rtctrlCtxP>
        </rtctrlProfile>
        <rtctrlSubjP name="match-rule1">
            <rtctrlMatchRtDest ip="200.3.2.0/24"/>
        </rtctrlSubiP>
        <rtctrlAttrP name="attrp1">
            <rtctrlSetASPath criteria="prepend">
                <rtctrlSetASPathASN asn="100" order="2"/>
                <rtctrlSetASPathASN asn="200" order="1"/>
            </rtctrlSetASPath>
        </rtctrlAttrP>
</fvTenant>
</polUni>
```

REST API を使用して、明示的なプレフィックス リストでルート マップ/プロファイルの 設定

#### 始める前に

・テナントと VRF を設定する必要があります。

#### 手順

明示的なプレフィックス リストを使用してルート マップ/プロファイルを設定します。

(注) 以下の太字のエントリは、APICリリース4.2(3)以降で使用可能な一致プレフィックスの拡張機能です。これらのフィールドの詳細については、一致プレフィックスの機能拡張を参照してください。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<fvTenant name="PM" status="">
    <rtortlAttrP name="set_dest">
        <rtotrlSetComm community="regular:as2-nn2:5:24" />
        </rtotrlAttrP>
        <rtotrlSubjP name="allow_dest">
            <rtotrlSubjP name="allow_dest">
            <rtotrlSubjP name="allow_dest">
            <rtotrlMatchRtDest ip="192.169.0.0/24" aggregate="yes" fromPfxLen="26" toPfxLen="30"
        />
        <rtotrlMatchCommTerm name="term1">
```

```
<rtctrlMatchCommFactor community="regular:as2-nn2:5:24" status="" />
         <rtctrlMatchCommFactor community="regular:as2-nn2:5:25" status="" />
      </rtctrlMatchCommTerm>
      <rtctrlMatchCommRegexTerm commType="regular" regex="200:*" status="" />
   </rtctrlSubiP>
   <rtctrlSubjP name="deny dest">
      <rtctrlMatchRtDest ip="192.168.0.0/24" />
   </rtctrlSubjP>
   <fvCtx name="ctx" />
   <l3extOut name="L3Out_1" enforceRtctrl="import,export" status="">
      <l3extRsEctx tnFvCtxName="ctx" />
      <l3extLNodeP name="bLeaf">
         <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="1.2.3.4" />
         <l3extLIfP name="portIf">
            <l3extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/25]"
ifInstT="sub-interface" encap="vlan-1503" addr="10.11.12.11/24" />
            <ospfIfP />
         </l3extLIfP>
         <bgpPeerP addr="5.16.57.18/32" ctrl="send-com" />
         <bgpPeerP addr="6.16.57.18/32" ctrl="send-com" />
      </l3extLNodeP>
      <bgpExtP />
      <ospfExtP areaId="0.0.0.59" areaType="nssa" status="" />
      <l3extInstP name="l3extInstP 1" status="">
         <l3extSubnet ip="17.11.1.11/24" scope="import-security" />
      </l3extInstP>
      <rtctrlProfile name="default-export" type="global" status="">
         <rtctrlCtxP name="ctx deny" action="deny" order="1">
           <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="deny dest" status="" />
         </rtctrlCtxP>
         <rtctrlCtxP name="ctx allow" order="2">
           <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="allow dest" status="" />
         </rtctrlCtxP>
         <rtctrlScope name="scope" status="">
           <rtctrlRsScopeToAttrP tnRtctrlAttrPName="set dest" status="" />
         </rtctrlScope>
      </rtctrlProfile>
   </13extOut>
   <fvBD name="testBD">
      <fvRsBDToOut tnL3extOutName="L3Out 1" />
      <fvRsCtx tnFvCtxName="ctx" />
      <fvSubnet ip="40.1.1.12/24" scope="public" />
      <fvSubnet ip="40.1.1.2/24" scope="private" />
      <fvSubnet ip="2003::4/64" scope="public" />
   </fvrBD>
</fvTenant>
```

REST API を使用した、インポート制御とエクスポート制御によるルーティング制御プロ トコルの設定

この例では、ネットワーク接続 BGP を使用して外部レイヤ3 が設定されていることを前提としています。OSPF を使用してネットワークを次のタスクを実行することもできます。

#### 始める前に

- テナント、プライベートネットワーク、およびブリッジドメインが作成されていること。
- ・レイヤ 3 Outside テナント ネットワークが設定されていること。

手順

インポート制御とエクスポート制御を使用するルート制御プロトコルを設定します。 例: <l3extOut descr="" dn="uni/tn-Ten ND/out-L3Out1" enforceRtctrl="export" name="L3Out1" ownerKey="" ownerTag="" targetDscp="unspecified"> targetDscp="unspecified"> <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="1.2.3.4" rtrIdLoopBack="yes" tDn="topology/pod-1/node-101"> <l3extLoopBackIfP addr="2000::3" descr="" name=""/> </l3extRsNodeL3OutAtt> <ospfIfP authKeyId="1" authType="none" descr="" name=""> <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName=""/> </ospfIfP> <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/> <l3extRsPathL3OutAtt addr="10.11.12.10/24" descr="" encap="unknown" ifInstT="13-port" llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mtu="1500" tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/17]" targetDscp="unspecified"/> </l3extLIfP> </l3extLNodeP> <l3extRsEctx tnFvCtxName="PVN1"/> targetDscp="unspecified"> <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/> <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="192.168.1.0/24" name="" scope=""/> </l3extInstP> <ospfExtP areaCost="1" areaCtrl="redistribute,summary" areaId="0.0.0.1"</pre> areaType="nssa" descr=""/> <rtctrlProfile descr="" name="default-export" ownerKey="" ownerTag=""> <rtctrlCtxP descr="" name="routecontrolpvtnw" order="3"> <rtctrlScope descr="" name=""> <rtctrlRsScopeToAttrP tnRtctrlAttrPName="actionruleprofile2"/> </rtctrlScope> </rtctrlCtxP> </rtctrlProfile> </13extOut>

## REST API を使用したインターリーク再配布の設定

次の手順では、REST API を使用してインターリーク再配布を設定する方法について説明します。

#### 始める前に

テナント、VRF、および L3Out を作成します。

#### 手順

ステップ1 インターリーク再配布のルートマップを設定します。

#### 例:

次の例では、2つのコンテキスト(ROUTES\_A および ROUTES\_ALL)を使用してルートマッ プ INTERLEAK\_RP を設定します。最初のコンテキスト ROUTES\_A は、IP プレフィックスリ スト 10.0.0.0/24 le 32 と一致し、set rule COM\_A を介してコミュニティ属性を設定します。2番 目のコンテキストは、すべてのルートと一致します。

```
POST: https://<APIC IP>/api/mo/uni.xml
BODY:
<fvTenant dn="uni/tn-SAMPLE">
    <!-- route map with two contexts (ROUTES A and ROUTES ALL) -->
    <rtctrlProfile type="global" name="INTERLEAK RP">
        <rtctrlCtxP name="ROUTES A" order="0" action="permit">
            <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="PFX_10-0-0_24"/>
            <rtctrlScope>
                <rtctrlRsScopeToAttrP tnRtctrlAttrPName="COM A"/>
            </rtctrlScope>
        </rtctrlCtxP>
        <rtctrlCtxP name="ROUTES ALL" order="9" action="permit">
            <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="ALL PREFIX"/>
        </rtctrlCtxP>
    </rtctrlProfile>
    <!-- match rule with an IP prefix-list -->
    <rtctrlSubjP name="ALL PREFIX">
        <rtctrlMatchRtDest ip="0.0.0.0/0" aggregate="yes"/>
    </rtctrlSubjP>
    <!-- match rule with an IP prefix-list -->
    <rtctrlSubjP name="PFX 10-0-0-0 24">
        <rtctrlMatchRtDest ip="10.0.0.0/24" aggregate="yes"/>
    </rtctrlSubjP>
    <!-- setu rule for community attribute -->
    <rtctrlAttrP name="COM A">
        <rtctrlSetComm type="community" setCriteria="append"
community="regular:as2-nn2:100:200"/>
    </rtctrlAttrP>
</fvTenant>
```

ステップ2 設定されたルートマップを L3Out に適用します。

次の例では、ステップ1のルートマップをL3Out13out1に適用して、特定のL3Outからのルー トのインターリーク再配布をカスタマイズします。

L3extRsInterleakPol は、特定のL3Outによって使用されるダイナミックルーティングプロト コル (OSPF/EIGRP) ルートに適用されます。L3extRsRedistributePol は、src 属性(static) で指定されたスタティックルートに適用されます。

#### 例:

POST: https://<APIC IP>/api/mo/uni.xml
BODY:
<fvTenant dn="uni/tn-SAMPLE">

# REST API を使用したトランジット ルーティングの設定

### REST API を使用したトランジット ルーティングの設定

次の手順では、テナントのトランジットルーティングを設定する方法を説明します。この例では、別のルータにそれぞれ接続された2つの境界リーフスイッチで、1つのVRF内に2つのL3Outを展開します。

#### 始める前に

- •ノード、ポート、AEP、機能プロファイル、レイヤ3ドメインを設定します。
- ・外部ルーテッドドメインを作成し、L3Outのインターフェイスに関連付けます。
- ファブリック内でルートを伝播させるために、BGP ルート リフレクタ ポリシーを設定します。

#### 手順

ステップ1 テナントおよび VRF を設定します。

この例ではテナント t1 および VRF v1 を設定します。VRF はまだ展開されていません。

```
例:
```

```
<fvTenant name="t1">
<fvCtx name="v1"/>
</fvTenant>
```

ステップ2 ノードおよびインターフェイスを設定します。

この例では、2つの境界リーフスイッチで、テナントtl と VRF v1 に 2 つの L3Outs を設定します。VRF は、レイヤ 3 ドメイン dom1 です。

- ・最初のL3Out はノード101上にあり、nodep1という名前です。ノード101 はルータ ID
   11.11.11.103 で設定されます。ルーテッドインターフェイス ifp1 が eth1/3 にあり、IP アドレス 12.12.3/24 です。
- •2番目のL3Outがノード102上にあり、nodep2という名前です。ノード102はルータID 22.22.22.203に設定されています。IPアドレス、23.23.23.1/24を持つeth1/3でルーテッ ドインターフェイス ifp2 があります。

例:

```
<l3extOut name="l3out1">
    <l3extRsEctx tnFvCtxName="v1"/>
    <l3extLNodeP name="nodep1">
       <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="11.11.11.103" tDn="topology/pod-1/node-101"/>
       <l3extLIfP name="ifp1"/>
       <l3extRsPathL3OutAtt addr="12.12.12.3/24" ifInstT="13-port"
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/3]"/>
        </l3extLIfP>
    </lastINodeP>
    <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-dom1"/>
</l3extOut>
<l3extOut name="l3out2">
    <l3extRsEctx tnFvCtxName="v1"/>
    <l3extLNodeP name="nodep2">
        xtRsNodeL3OutAtt rtrId="22.22.22.203" tDn="topology/pod-1/node-102"/>
        <l3extLIfP name="ifp2"/>
       <l3extRsPathL3OutAtt addr="23.23.23.3/24" ifInstT="13-port"
tDn="topology/pod-1/paths-102/pathep-[eth1/3]"/>
       </l3extLIfP>
    </l3extLNodeP>
    <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-dom1"/>
</l3extOut>
```

```
ステップ3 両方の境界リーフスイッチのルーティングプロトコルを設定します。
```

この例では、両方の境界リーフスイッチに対して、ASN 100 でプライマリルーティングプロ トコルとして BGP を設定します。BGP ピア 15.15.15.2を持つノード 101 と BGP ピア 25.25.25.2 を持つノード102を設定します。

#### 例:

ステップ4 接続ルーティングプロトコルを設定します。

この例では、定期的なエリア ID 0.0.0.0 で両方の L3Outs に対して通信プロトコルとして OSPF を設定します。

```
xtOut name="l3out1">
<ospfExtP areaId="0.0.0.0" areaType="regular"/>
<l3extLNodeP name="nodep1">
<l3extLIfP name="ifp1">
<ospfIfP/>
<l3extIfP>
<l3extIfP>
<l3extLNodeP>
```

```
</lisextOut name="l3out2">
</lisextOut name="l3out2">
</lisextExtP areaId="0.0.0.0" areaType="regular"/>
</lisextLNodeP name="nodep2">
</lisextLNodeP name="nodep2">
</lisextLIfP name="ifp2">
</lisextLifP name="ifp2">
</lisextIfP>
</lisextIfP>
</lisextIfP>
</lisextLNodeP>
</lisextOut>
```

#### ステップ5 外部 EPG を設定します。

この例では、ノード101上の外部ネットワーク extnw1 としてネットワーク 192.168.1.0/24 と、 ノード102上の外部ネットワーク extnw2 として 192.168.2.0/24 を設定します。また、ルート 制御プロファイル rp1 および rp2.と外部 EPG を関連付けます。

#### 例:

ステップ6 オプション。ルートマップを設定します。

この例では、インバウンドおよびアウトバウンド方向で各BGP ピアのルートマップを設定します。L3out1 では、ルートマップ rp1 が 192.168.1.0/24 のインポート宛先に一致するルート に適用され、ルートマップ rp2 が 192.168.2.0/24 のエクスポート宛先に一致するルートに適 用されます。L3out2 では、ルートマップの方向を反転します。

```
<fvTenant name="t1">
   <rtctrlSubjP name="match-rule1">
       <rtctrlMatchRtDest ip="192.168.1.0/24" />
   </rtctrlSubjP>
   <rtctrlSubjP name="match-rule2">
        <rtctrlMatchRtDest ip="192.168.2.0/24" />
   </rtctrlSubjP>
   <l3extOut name="l3out1">
        <rtctrlProfile name="rp1">
            <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule1" />
            </rtctrlCtxP>
        </rtctrlProfile>
        <rtctrlProfile name="rp2">
            <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule2" />
            </rtctrlCtxP>
       </rtctrlProfile>
        <l3extInstP name="extnw1">
            <l3extRsInstPToProfile direction="import" tnRtctrlProfileName="rp1" />
            <l3extRsInstPToProfile direction="export" tnRtctrlProfileName="rp2" />
```

```
</l3extInstP>
    </l3extOut>
    <l3extOut name="l3out2">
        <rtctrlProfile name="rp1">
           <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule1" />
           </rtctrlCtxP>
        </rtctrlProfile>
        <rtctrlProfile name="rp2">
            <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule2" />
            </rtctrlCtxP>
        </rtctrlProfile>
        <l3extInstP name="extnw2">
            xtRsInstPToProfile direction="import" tnRtctrlProfileName="rp2" />
            xtRsInstPToProfile direction="export" tnRtctrlProfileName="rp1" />
        </l3extInstP>
    </l3extOut>
</fvTenant>
```

**ステップ7**フィルタおよびコントラクトを作成し、EPG が通信できるようにします。

この例では、フィルタ http-filter とコントラクト httpctrct を設定します。外部 EPG および アプリケーション EPG は、それぞれプロバイダおよびコンシューマとして、すでにコントラ クト httpctrct と関連付けられています。

#### 例:

ステップ8 コントラクトと外部 EPG を関連付けます。

この例では、外部 EPG extnw1 をプロバイダとして、外部 EPG extnw2 をコントラクト httpCtrct のコンシューマとして関連付けます。

```
<l3extOut name="l3out1">
<l3extInstP name="extnw1">
<fvRsProv tnVzBrCPName="httpCtrct"/>
</l3extInstP>
</l3extOut>
<l3extOut name="l3out2">
<l3extInstP name="extnw2">
<fvRsCons tnVzBrCPName="httpCtrct"/>
</l3extInstP>
</l3extInstP>
</l3extOut>
```

# REST API の例: 中継ルーティング

次の例では、REST API を使用して、2つの境界リーフスイッチで2つのL3Outs を設定します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- api/policymgr/mo/.xml -->
<polUni>
   <fvTenant name="t1">
       <fvCtx name="v1"/>
       <l3extOut name="l3out1">
           <l3extRsEctx tnFvCtxName="v1"/>
           <l3extLNodeP name="nodep1">
               <bgpPeerP addr="15.15.15.2/24">
                   <bgpAsP asn="100"/>
               </bgpPeerP>
              <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="11.11.11.103" tDn="topology/pod-1/node-101"/>
               <l3extLIfP name="ifp1">
                   <l3extRsPathL3OutAtt addr="12.12.12.3/24" ifInstT="13-port"
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/3]" />
                   <ospfIfP/>
               </l3extLIfP>
           </l3extLNodeP>
           <l3extInstP name="extnw1">
               <l3extSubnet ip="192.168.1.0/24" scope="import-security"/>
               <l3extRsInstPToProfile direction="import" tnRtctrlProfileName="rp1"/>
               <l3extRsInstPToProfile direction="export" tnRtctrlProfileName="rp2"/>
               <fvRsProv tnVzBrCPName="httpCtrct"/>
           </l3extInstP>
           <bgpExtP/>
           <ospfExtP areaId="0.0.0.0" areaType="regular"/>
            <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-dom1"/>
           <rtctrlProfile name="rp1">
               <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                   <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule1"/>
               </rtctrlCtxP>
           </rtctrlProfile>
           <rtctrlProfile name="rp2">
               <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                   <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule2"/>
               </rtctrlCtxP>
           </rtctrlProfile>
       </13extOut>
       <l3extOut name="l3out2">
           <l3extRsEctx tnFvCtxName="v1"/>
           <l3extLNodeP name="nodep2">
               <bgpPeerP addr="25.25.25.2/24">
                   <bgpAsP asn="100"/>
               </bgpPeerP>
               />
               <l3extLIfP name="ifp2">
                   <l3extRsPathL3OutAtt addr="23.23.23.3/24" ifInstT="13-port"
tDn="topology/pod-1/paths-102/pathep-[eth1/3]" />
                   <ospfIfP/>
               </l3extLIfP>
           </l3extLNodeP>
           <l3extInstP name="extnw2">
               <l3extSubnet ip="192.168.2.0/24" scope="import-security"/>
               xtRsInstPToProfile direction="import" tnRtctrlProfileName="rp2"/>
               <l3extRsInstPToProfile direction="export" tnRtctrlProfileName="rp1"/>
               <fvRsCons tnVzBrCPName="httpCtrct"/>
           </l3extInstP>
           <ospfExtP areaId="0.0.0.0" areaType="regular"/>
           <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-dom1"/>
           <rtctrlProfile name="rp1">
               <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
```

```
<rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule1"/>
                </rtctrlCtxP>
            </rtctrlProfile>
           <rtctrlProfile name="rp2">
                <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                    <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule2"/>
                </rtctrlCtxP>
           </rtctrlProfile>
       </l3extOut>
        <rtctrlSubjP name="match-rule1">
            <rtctrlMatchRtDest ip="192.168.1.0/24"/>
       </rtctrlSubjP>
       <rtctrlSubjP name="match-rule2">
           <rtctrlMatchRtDest ip="192.168.2.0/24"/>
       </rtctrlSubjP>
        <vzFilter name="http-filter">
           <vzEntry name="http-e" etherT="ip" prot="tcp"/>
       </vzFilter>
       <vzBrCP name="httpCtrct" scope="context">
            <vzSubj name="subj1">
                <vzRsSubjFiltAtt tnVzFilterName="http-filter"/>
            </vzSubj>
       </vzBrCP>
   </fvTenant>
</polUni>
```

共有 L30ut

# REST API を使用した共有サービスの設定

### 共有設定の2つのレイヤ REST API を使用して2つの Vrf に3が記録されます。

2つの方法が表示されますが、2つのVrfにレイヤ3が記録されるを共有する次のREST APIの 設定例は次の通信します。

```
手順
```

ステップ1 プロバイダーレイヤ3を設定します。

### 例:

ステップ2 レイヤ3 Out コンシューマを設定します。

# REST API を使用した L30ut の QoS の設定

### **REST API**を使用した L30ut での QoS ディレクトリの設定

この章では L3Out で QoS ディレクトリを設定する方法について説明します。これは、リリース 4.0(1) 以降の L3Out QoS の推奨設定方法です。Cisco APIC

次のオブジェクトの内の1つでL3OutのQoSを設定できます。

- Switch Virtual Interface (SVI)
- サブインターフェイス
- 外部ルーテッド

手順

ステップ1 L3Out SVI に QoS プライオリティを設定します。

#### 例:

</l3extLIfP>

**ステップ2** サブインターフェイスに QoS プライオリティを設定します。

<l3extRsLIfPCustQosPol tnQosCustomPolName="VrfQos006"/>

REST API を使用してタスクを実行する

```
例:
          <l3extLIfP dn="uni/tn-DT/out-L4E48 inter_tenant/lnodep-L4E48_inter_tenant/lifp-L4E48"
                    name="L4E48" prio="level4" tag="yellow-green">
              xtRsPathL3OutAtt addr="210.1.0.254/16" autostate="disabled" encap="vlan-20"
                                 encapScope="local" ifInstT="sub-interface" ipv6Dad="enabled"
          llAddr="::"
                                 mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit"
                                 tDn="topology/pod-1/paths-104/pathep-[eth1/48]"
          targetDscp="unspecified"/>
              <l3extRsNdIfPol annotation="" tnNdIfPolName=""/>
              </l3extLIfP>
ステップ3 外部ルーテッドに QoS プライオリティを設定します。
          例:
          <l3extLIfP dn="uni/tn-DT/out-L2E37/lnodep-L2E37/lifp-L2E370UT"
                    name="L2E370UT" prio="level5" tag="yellow-green">
              <l3extRsPathL3OutAtt addr="30.1.1.1/24" autostate="disabled" encap="unknown"
                                 encapScope="local" ifInstT="l3-port" ipv6Dad="enabled"
                                 llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular"
                                 mtu="inherit" targetDscp="unspecified"
                                 tDn="topology/pod-1/paths-102/pathep-[eth1/37]"/>
              <l3extRsNdIfPol annotation="" tnNdIfPolName=""/>
              <l3extRsLIfPCustQosPol tnQosCustomPolName="vrfQos002"/>
          </13extLTfP>
```

### REST API を使用した L30ut の QoS コントラクトの設定

この項では、コントラクトを使用して L3Out の QoS を設定する方法について説明します。

(注) リリース 4.0(1) 以降では、L3Out QoS 用にカスタム QoS ポリシーを使用することを推奨してい ます。REST API を使用した L3Out での QoS ディレクトリの設定 (63 ページ) で説明してい ます。

手順

ステップ1 テナント、VRF、ブリッジ ドメインを設定する場合、ポリシー適用が有効になっている状態 で、出力モードに VRF を設定します(pcEnfDir="egress)。次の例のように XML で post を送 信します。

```
<fvTenant name="t1">
    <fvTenant name="t1">
    <fvCtx name="v1" pcEnfPref="enforced" pcEnfDir="egress"/>
    <fvBD name="bd1">
        <fvRsCtx tnFvCtxName="v1"/>
        <fvRsCtx tnFvCtxName="v1"/>
        <fvSubnet ip="44.44.44.1/24" scope="public"/>
        <fvRsBDToOut tnL3extOutName="l3out1"/>
        </fvBD>"/>
</fvTenant>
```

**ステップ2** 通信のため L3Out に参加して EPG を有効にする契約を作成するときは、優先順位の QoS を設定します。

この例のコントラクトには、L3Out で出力されるトラフィックの level1 の QoS 優先順位を含 みますまたは、ターゲットの DSCP 値を定義する可能性があります。QoS ポリシーは、契約ま たはサブジェクトのいずれかでサポートされます。

フィルタにmatchDscp = 「Ef」条件があるため、このタグを持つトラフィックがコントラクト件 名で指定されたキューを通して L3out プロセスにより受信できます。

- (注) L3out インターフェイスでの QOS またはカスタム QOS では VRF の適用は入力とします。VRF の適用を出力にする必要があるのは、QOS 分類が EPG と L3out の間、または L3out から L3out へのトラフィックの契約で実行される場合に限ります。
- (注) QOS 分類が契約で設定され、VRF の適用が出力である場合、契約 QOS 分類は L3out インターフェイス QOS またはカスタム QOS 分類をオーバーライドするため、これか新しいもののいずれかを設定する必要があります。

#### 例:

# REST API を使用した SR-MPLS カスタム QoS ポリシー

SR MPLS カスタム QoS ポリシーは、MPLS QoS 出力 ポリシーで定義された着信 MPLS EXP 値 に基づいて、SR-MPLS ネットワークから送信されるパケットのプライオリティを定義します。 これらのパケットは、ACI ファブリック内にあります。また、MPLS QoS 出力ポリシーで定義 された IPv4 DSCP 値に基づく MPLS インターフェイスを介して ACI ファブリックから離れる パケットの CoS 値および MPLS EXP 値をマーキングします。

カスタム出力ポリシーが定義されていない場合、デフォルトのQosレベル(Level3)がファブ リック内のパケットに割り当てられます。カスタム出力ポリシーが定義されていない場合、デ フォルトの EXP 値(0)がファブリックから離れるパケットにマーキングされます。

#### 手順

ステップ1 SR-MPLS QoS ポリシーの作成

次のPOSTで、

- customqos1を、作成する SR-MPLS QoS ポリシーの名前に置き換えます。
- qosMplsIngressRuleの場合:
  - from = "2" to = "3"を、ポリシーに一致させる EXP 範囲に置き換えます。
  - ・ prio = "level5"を ACI ファブリック内にあるパケットの ACI QoS レベルに置き換えます。
  - target = "CS5" は、パケットが一致したときに設定する DSCP 値に置き換えます。
  - targetCos = "4" を、パケットが一致したときにパケットに設定する CoS 値に置き換えます。
- qosMplsEgressRule の場合:
  - from = "CS2" to = "CS4" を、ポリシーを照合する DSCP 範囲に置き換えます。
  - targetExp = "5" を、パケットがファブリックを離れるときに設定する EXP 値に置き換えます。
  - targetCos = "3" を、パケットがファブリックを離れるときに設定する CoS 値に置き換えます。

```
<polUni>
  <fvTenant name="infra">
    <qosMplsCustomPol descr="" dn="uni/tn-infra/qosmplscustom-customqos1" name="customqos1"
    status="" >
        <qosMplsIngressRule from="2" to="3" prio="level5" target="CS5" targetCos="4"
    status="" />
        <qosMplsEgressRule from="CS2" to="CS4" targetExp="5" targetCos="3" status=""/>
        </qosMplsEustomPol>
    </fvTenant>
  </polUni>
```

#### ステップ2 SR-MPLS QoS ポリシーの作成

</l3extLNodeP> </l3extOut> </fvTenant> </polUni>

# REST API を使用した ACI IP SLA の設定

# REST API を使用した IP SLA モニタリング ポリシーの設定

REST API を使用して特定の SLA タイプのモニタリング プローブを送信できるようにするに は、次の手順を実行します。Cisco APIC

手順

IP SLA モニタリング ポリシーの設定

#### 例:

### REST API を使用した IP-SLA トラック メンバーの設定

REST API を使用して IP SLA トラックメンバーを設定するには、次の手順を実行します。

手順

# REST API を使用した IP-SLA トラック リストの設定

REST API を使用して IP SLA トラック リストを設定するには、次の手順を実行します。

#### 手順

#### IP SLA トラック リストを設定します。

#### 例:

### REST API を使用したスタティック ルートとトラック リストの関連付け

REST API を使用して IP SLA トラック リストをスタティック ルートに関連付けるには、次の 手順を実行します。

#### 手順

IP SLA トラック リストをスタティック ルートに関連付けます。

### 例:

# REST API を使用して ネクスト ホップ プロファイルのトラック リストに関連付けをする

REST API を使用して IP SLA トラック リストをネクスト ホップ プロファイルに関連付けるに は、次の手順を実行します。

#### 手順

IP SLA トラック リストをネクスト ホップ プロファイルに関連付けます。

#### 例:

REST API を使用した HSRP の設定

# REST API を使用した APIC 内の HSRP の設定

リーフスイッチが設定されている場合、HSRP が有効になっています。

#### 始める前に

- ・テナントおよび VRF を設定する必要があります。
- VLAN プールは、適切な VLAN 範囲が定義され、レイヤ3ドメインが作成されて VLAN プールに接続されている状態で設定される必要があります。
- エンティティプロファイルの接続も、レイヤ3ドメインに関連付けられている必要があります。
- リーフスイッチのインターフェイスプロファイルは必要に応じて設定する必要があります。

#### 手順

ステップ1 ポートセレクタを作成します。

```
<polUni>
  <infraInfra dn="uni/infra">
    <infraNodeP name="TenantNode 101">
      <infraLeafS name="leafselector" type="range">
        <infraNodeBlk name="nodeblk" from ="101" to ="101">
            </infraNodeBlk>
      </infraLeafS>
      <infraRsAccPortP tDn="uni/infra/accportprof-TenantPorts 101"/>
    </infraNodeP>
    <infraAccPortP name="TenantPorts_101">
      <infraHPortS name="portselector" type="range">
        <infraPortBlk name="portblk" fromCard="1" toCard="1" fromPort="41" toPort="41">
            </infraPortBlk>
        <infraRsAccBaseGrp tDn="uni/infra/funcprof/accportgrp-TenantPortGrp 101"/>
      </infraHPortS>
    </infraAccPortP>
    <infraFuncP>
      <infraAccPortGrp name="TenantPortGrp_101">
       <infraRsAttEntP tDn="uni/infra/attentp-AttEntityProfTenant"/>
        <infraRsHIfPol tnFabricHIfPolName="default"/>
      </infraAccPortGrp>
    </infraFuncP>
  </infraInfra>
</polUni>
```

ステップ2 テナントポリシーを作成します。

#### 例:

```
<polUni>
  <fvTenant name="t9" dn="uni/tn-t9" descr="">
   <fvCtx name="t9 ctx1" pcEnfPref="unenforced">
    </fvCtx>
   <fvBD name="t9 bd1" unkMacUcastAct="flood" arpFlood="yes">
      <fvRsCtx tnFvCtxName="t9 ctx1"/>
      <fvSubnet ip="101.9.1.1/24" scope="shared"/>
    </fvBD>
    xtOut dn="uni/tn-t9/out-l3extOut1" enforceRtctrl="export" name="l3extOut1">
      <l3extLNodeP name="Node101">
        <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="210.210.121.121" rtrIdLoopBack="no"
tDn="topology/pod-1/node-101"/>
      </l3extLNodeP>
      <l3extRsEctx tnFvCtxName="t9 ctx1"/>
      <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-dom1"/>
     <l3extInstP matchT="AtleastOne" name="extEpg" prio="unspecified"
targetDscp="unspecified">
       <l3extSubnet aggregate="" descr="" ip="176.21.21.21/21" name=""
scope="import-security"/>
     </l3extInstP>
    </l3extOut>
  </fvTenant>
</polUni>
```

ステップ3 LLDP インターフェイス ポリシーを作成します。.

```
<polUni>
<fvTenant name="t9" dn="uni/tn-t9" descr="">
<hsrpIfPol name="hsrpIfPol" ctrl="bfd" delay="4" reloadDelay="11"/>
</fvTenant>
</polUni>
```

```
ステップ4 HSRP グループ ポリシーを作成します。.
```

例:

```
<polUni>
<fvTenant name="t9" dn="uni/tn-t9" descr="">
<hsrpIfPol name="hsrpIfPol" ctrl="bfd" delay="4" reloadDelay="11"/>
</fvTenant>
</polUni>
```

**ステップ5** HSRP インターフェイス プロファイルおよび HSRP グループ プロファイルを作成します。

```
<polUni>
  <fvTenant name="t9" dn="uni/tn-t9" descr="">
    <l3extOut dn="uni/tn-t9/out-l3extOut1" enforceRtctrl="export" name="l3extOut1">
      <l3extLNodeP name="Node101">
        xtLIfP name="eth1-41-v6" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
          <hsrpIfP name="eth1-41-v6" version="v2">
            <hsrpRsIfPol tnHsrpIfPolName="hsrpIfPol"/>
          <hsrpGroupP descr="" name="HSRPV6-2" groupId="330" groupAf="ipv6" ip="fe80::3"</pre>
mac="00:00:0C:18:AC:01" ipObtainMode="admin">
              <hsrpRsGroupPol tnHsrpGroupPolName="G1"/>
            </hsrpGroupP>
          </hsrpIfP>
          <l3extRsPathL3OutAtt addr="2002::100/64" descr="" encap="unknown"
encapScope="local" ifInstT="l3-port" llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular"
mtu="inherit" tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/41]" targetDscp="unspecified">
            <l3extIp addr="2004::100/64"/>
          </l3extRsPathL3OutAtt>
        </l3extLIfP>
        <l3extLIfP name="eth1-41-v4" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
          <hsrpIfP name="eth1-41-v4" version="v1">
            <hsrpRsIfPol tnHsrpIfPolName="hsrpIfPol"/>
            <hsrpGroupP descr="" name="HSRPV4-2" groupId="51" groupAf="ipv4"
ip="177.21.21.21" mac="00:00:0C:18:AC:01" ipObtainMode="admin">
              <hsrpRsGroupPol tnHsrpGroupPolName="G1"/>
            </hsrpGroupP>
          </hsrpIfP>
          <l3extRsPathL3OutAtt addr="177.21.21.11/24" descr="" encap="unknown"
encapScope="local" ifInstT="l3-port" llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular"
mtu="inherit" tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/41]" targetDscp="unspecified">
            <l3extIp addr="177.21.23.11/24"/>
          </l3extRsPathL3OutAtt>
        </l3extLIfP>
      </l3extLNodeP>
    </l3extOut>
  </fvTenant>
</polUni>
```

# **REST API** を使用した Cisco ACI GOLF の設定

# REST API を使用した GOLF の設定

#### 手順

ステップ1 次の例では、REST APIを使用して GOLF のノードおよびスパイン スイッチインターフェイス を展開する方法を示しています。

#### 例:

```
POST https://192.0.20.123/api/mo/uni/golf.xml
```

**ステップ2** 次の XML で、スパイン スイッチ インターフェイスと GOLF サービスのインフラ テナントプ ロバイダを設定します。次の XML 構造を POST メッセージの本文に含めます。

```
name="golf"
   ownerKey="" ownerTag="" targetDscp="unspecified">
   <l3extRsEctx tnFvCtxName="overlay-1"/>
   <l3extProvLbl descr="" name="golf"
        ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green"/>
   <l3extLNodeP configIssues="" descr=""
        name="bLeaf" ownerKey="" ownerTag=""
        tag="yellow-green" targetDscp="unspecified">
        <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="10.10.3.3" rtrIdLoopBack="no"
            tDn="topology/pod-1/node-111">
            <l3extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="yes" name=""/>
            <l3extLoopBackIfP addr="10.10.3.3" descr="" name=""/>
        </l3extRsNodeL3OutAtt>
        <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="10.10.3.4" rtrIdLoopBack="no"
            tDn="topology/pod-1/node-112">
        <l3extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="yes" name=""/>
        <l3extLoopBackIfP addr="10.10.3.4" descr="" name=""/>
        </l3extRsNodeL3OutAtt>
        <l3extLIfP descr="" name="portIf-spine1-3"
            ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
            <ospfIfP authKeyId="1" authType="none" descr="" name="">
              <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName="ospfIfPol"/>
            </ospfIfP>
            <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
            <l3extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
            <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
            <l3extRsPathL3OutAtt addr="7.2.1.1/24" descr=""
               encap="vlan-4"
               encapScope="local"
               ifInstT="sub-interface"
               llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
               mode="regular"
               mtu="1500"
               tDn="topology/pod-1/paths-111/pathep-[eth1/12]"
               targetDscp="unspecified"/>
         </l3extLIfP>
         <l3extLIfP descr="" name="portIf-spine2-1"
             ownerKey=""
```
```
ownerTag=""
   tag="yellow-green">
   <ospfIfP authKeyId="1"</pre>
        authType="none"
        descr=""
        name="">
        <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName="ospfIfPol"/>
   </ospfIfP>
   <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
   <l3extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
   <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
   <l3extRsPathL3OutAtt addr="7.1.0.1/24" descr=""
        encap="vlan-4"
        encapScope="local"
        ifInstT="sub-interface"
        llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
        mode="regular"
        mtu="9000"
        tDn="topology/pod-1/paths-112/pathep-[eth1/11]"
        targetDscp="unspecified"/>
</l3extLIfP>
<l3extLIfP descr="" name="portif-spine2-2"
   ownerKey=""
   ownerTag=""
   tag="yellow-green">
   <ospfIfP authKeyId="1"</pre>
        authType="none" descr=""
        name="">
        <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName="ospfIfPol"/>
  </ospfIfP>
  <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
  <l3extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
  <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
  <l3extRsPathL3OutAtt addr="7.2.2.1/24" descr=""
        encap="vlan-4"
        encapScope="local"
        ifInstT="sub-interface"
               llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
               mode="regular"
               mtu="1500"
               tDn="topology/pod-1/paths-112/pathep-[eth1/12]"
               targetDscp="unspecified"/>
  </l3extLIfP>
  <l3extLIfP descr="" name="portIf-spine1-2"
       ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
       <ospfIfP authKeyId="1" authType="none" descr="" name="">
            <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName="ospfIfPol"/>
       </ospfIfP>
       <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
       <l3extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
       <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
       <l3extRsPathL3OutAtt addr="9.0.0.1/24" descr=""
        encap="vlan-4"
        encapScope="local"
        ifInstT="sub-interface"
             llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
             mode="regular"
             mtu="9000"
             tDn="topology/pod-1/paths-111/pathep-[eth1/11]"
             targetDscp="unspecified"/>
  </l3extLTfP>
  <l3extLIfP descr="" name="portIf-spine1-1"
        ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
        <ospfIfP authKeyId="1" authType="none" descr="" name="">
```

```
<ospfRsIfPol tnOspfIfPolName="ospfIfPol"/>
                   </ospfIfP>
                   <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
                   <l3extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
                   <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
                   <l3extRsPathL3OutAtt addr="7.0.0.1/24" descr=""
                     encap="vlan-4"
                     encapScope="local"
                     ifInstT="sub-interface"
                     llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
                     mode="regular"
                     mtu="1500"
                     tDn="topology/pod-1/paths-111/pathep-[eth1/10]"
                          targetDscp="unspecified"/>
             </l3extLIfP>
             <bgpInfraPeerP addr="10.10.3.2"
                allowedSelfAsCnt="3"
                ctrl="send-com, send-ext-com"
                descr="" name="" peerCtrl=""
                peerT="wan"
                privateASctrl="" ttl="2" weight="0">
                <bgpRsPeerPfxPol tnBgpPeerPfxPolName=""/>
                <bgpAsP asn="150" descr="" name="aspn"/>
             </bgpInfraPeerP>
             <bgpInfraPeerP addr="10.10.4.1"
                allowedSelfAsCnt="3"
                ctrl="send-com, send-ext-com" descr="" name="" peerCtrl=""
                peerT="wan"
                privateASctrl="" ttl="1" weight="0">
                <bgpRsPeerPfxPol tnBgpPeerPfxPolName=""/>
                <bgpAsP asn="100" descr="" name=""/>
              </bgpInfraPeerP>
              <bgpInfraPeerP addr="10.10.3.1"
                allowedSelfAsCnt="3"
                ctrl="send-com, send-ext-com" descr="" name="" peerCtrl=""
                peerT="wan"
                privateASctrl="" ttl="1" weight="0">
                <bgpRsPeerPfxPol tnBgpPeerPfxPolName=""/>
                <bgpAsP asn="100" descr="" name=""/>
             </bgpInfraPeerP>
       </l3extLNodeP>
      <br/><br/>bgpRtTargetInstrP descr="" name="" ownerKey="" ownerTag="" rtTargetT="explicit"/>
       <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-l3dom"/>
       <l3extInstP descr="" matchT="AtleastOne" name="golfInstP"
                 prio="unspecified"
                 targetDscp="unspecified">
                 <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
        </l3extInstP>
        <bgpExtP descr=""/>
        <ospfExtP areaCost="1"</pre>
               areaCtrl="redistribute, summary"
               areaId="0.0.0.1"
               areaType="regular" descr=""/>
</13ext0ut>
```

ステップ3 次の XML で、GOLF サービスのインフラ部分のテナント コンシューマを設定します。次の XML 構造を POST メッセージの本文に含めます。

例:

```
<fvTenant descr="" dn="uni/tn-pep6" name="pep6" ownerKey="" ownerTag="">
<vzBrCP descr="" name="webCtrct"
```

```
ownerKey="" ownerTag="" prio="unspecified"
    scope="global" targetDscp="unspecified">
    <vzSubj consMatchT="AtleastOne" descr=""
         name="http" prio="unspecified" provMatchT="AtleastOne"
         revFltPorts="yes" targetDscp="unspecified">
         <vzRsSubjFiltAtt directives="" tnVzFilterName="default"/>
    </vzSubj>
</vzBrCP>
<vzBrCP descr="" name="webCtrct-pod2"
     ownerKey="" ownerTag="" prio="unspecified"
     scope="global" targetDscp="unspecified">
     <vzSubj consMatchT="AtleastOne" descr=""
          name="http" prio="unspecified"
          provMatchT="AtleastOne" revFltPorts="yes"
          targetDscp="unspecified">
          <vzRsSubjFiltAtt directives=""
                tnVzFilterName="default"/>
     </vzSubj>
 </vzBrCP>
 <fvCtx descr="" knwMcastAct="permit"
      name="ctx6" ownerKey="" ownerTag=""
      pcEnfDir="ingress" pcEnfPref="enforced">
      <bgpRtTargetP af="ipv6-ucast"
           descr="" name="" ownerKey="" ownerTag="">
           <bgpRtTarget descr="" name="" ownerKey="" ownerTag=""</pre>
           rt="route-target:as4-nn2:100:1256"
           type="export"/>
           <bgpRtTarget descr="" name="" ownerKey="" ownerTag=""
                rt="route-target:as4-nn2:100:1256"
                type="import"/>
      </bgpRtTargetP>
      <bgpRtTargetP af="ipv4-ucast"
           descr="" name="" ownerKey="" ownerTag="">
           <bgpRtTarget descr="" name="" ownerKey="" ownerTag=""
                rt="route-target:as4-nn2:100:1256"
                type="export"/>
           <bgpRtTarget descr="" name="" ownerKey="" ownerTag=""
                rt="route-target:as4-nn2:100:1256"
                type="import"/>
      </bgpRtTargetP>
      <fvRsCtxToExtRouteTagPol tnL3extRouteTagPolName=""/>
      <fvRsBgpCtxPol tnBgpCtxPolName=""/>
      <vzAny descr="" matchT="AtleastOne" name=""/>
      <fvRsOspfCtxPol tnOspfCtxPolName=""/>
      <fvRsCtxToEpRet tnFvEpRetPolName=""/>
      <l3extGlobalCtxName descr="" name="dci-pep6"/>
 </fvCtx>
 <fvBD arpFlood="no" descr="" epMoveDetectMode=""
      ipLearning="yes"
      limitIpLearnToSubnets="no"
      llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
     mcastAllow="no"
      multiDstPktAct="bd-flood"
      name="bd107" ownerKey="" ownerTag="" type="regular"
      unicastRoute="yes"
      unkMacUcastAct="proxy"
      unkMcastAct="flood"
      vmac="not-applicable">
      <fvRsBDToNdP tnNdIfPolName=""/>
      <fvRsBDToOut tnL3extOutName="routAccounting-pod2"/>
      <fvRsCtx tnFvCtxName="ctx6"/>
      <fvRsIgmpsn tnIgmpSnoopPolName=""/>
      <fvSubnet ctrl="" descr="" ip="27.6.1.1/24"
           name="" preferred="no"
```

```
scope="public"
          virtual="no"/>
          <fvSubnet ctrl="nd" descr="" ip="2001:27:6:1::1/64"
               name="" preferred="no"
               scope="public"
               virtual="no">
               <fvRsNdPfxPol tnNdPfxPolName=""/>
          </fvSubnet>
          <fvRsBdToEpRet resolveAct="resolve" tnFvEpRetPolName=""/>
</fvBD>
<fvBD arpFlood="no" descr="" epMoveDetectMode=""
     ipLearning="yes"
    limitIpLearnToSubnets="no"
    llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
    mcastAllow="no"
    multiDstPktAct="bd-flood"
    name="bd103" ownerKey="" ownerTag="" type="regular"
    unicastRoute="yes"
    unkMacUcastAct="proxy"
    unkMcastAct="flood"
    vmac="not-applicable">
     <fvRsBDToNdP tnNdIfPolName=""/>
     <fvRsBDToOut tnL3extOutName="routAccounting"/>
    <fvRsCtx tnFvCtxName="ctx6"/>
     <fvRsIgmpsn tnIgmpSnoopPolName=""/>
     <fvSubnet ctrl="" descr="" ip="23.6.1.1/24"
         name="" preferred="no"
          scope="public"
          virtual="no"/>
     <fvSubnet ctrl="nd" descr="" ip="2001:23:6:1::1/64"
          name="" preferred="no"
          scope="public" virtual="no">
          <fvRsNdPfxPol tnNdPfxPolName=""/>
     </fvSubnet>
     <fvRsBdToEpRet resolveAct="resolve" tnFvEpRetPolName=""/>
</fvBD>
<vnsSvcCont/>
<fvRsTenantMonPol tnMonEPGPolName=""/>
<fvAp descr="" name="AP1"
    ownerKey="" ownerTag="" prio="unspecified">
     <fvAEPg descr=""
         isAttrBasedEPg="no"
         matchT="AtleastOne"
         name="epg107"
          pcEnfPref="unenforced" prio="unspecified">
          <fvRsCons prio="unspecified"
               tnVzBrCPName="webCtrct-pod2"/>
          <fvRsPathAtt descr=""
              encap="vlan-1256"
               instrImedcy="immediate"
               mode="regular" primaryEncap="unknown"
               tDn="topology/pod-2/paths-107/pathep-[eth1/48]"/>
          <fvRsDomAtt classPref="encap" delimiter=""
               encap="unknown"
               instrImedcy="immediate"
               primaryEncap="unknown"
               resImedcy="lazy" tDn="uni/phys-phys"/>
          <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
          <fvRsBd tnFvBDName="bd107"/>
          <fvRsProv matchT="AtleastOne"
               prio="unspecified"
               tnVzBrCPName="default"/>
     </fvAEPq>
     <fvAEPg descr=""
```

```
isAttrBasedEPg="no"
          matchT="AtleastOne"
          name="epg103"
          pcEnfPref="unenforced" prio="unspecified">
          <fvRsCons prio="unspecified" tnVzBrCPName="default"/>
          <fvRsCons prio="unspecified" tnVzBrCPName="webCtrct"/>
          <fvRsPathAtt descr="" encap="vlan-1256"
               instrImedcy="immediate"
               mode="regular" primaryEncap="unknown"
               tDn="topology/pod-1/paths-103/pathep-[eth1/48]"/>
               <fvRsDomAtt classPref="encap" delimiter=""
                    encap="unknown"
                    instrImedcy="immediate"
                    primaryEncap="unknown"
                    resImedcy="lazy" tDn="uni/phys-phys"/>
               <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
               <fvRsBd tnFvBDName="bd103"/>
     </fvAEPg>
</fvAp>
<l3extOut descr=""
    enforceRtctrl="export"
     name="routAccounting-pod2"
     ownerKey="" ownerTag="" targetDscp="unspecified">
     <l3extRsEctx tnFvCtxName="ctx6"/>
     <l3extInstP descr=""
         matchT="AtleastOne"
          name="accountingInst-pod2"
          prio="unspecified" targetDscp="unspecified">
     <l3extSubnet aggregate="export-rtctrl,import-rtctrl"
          descr="" ip="::/0" name=""
          scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
     <l3extSubnet aggregate="export-rtctrl,import-rtctrl"
          descr=""
          ip="0.0.0/0" name=""
          scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
     <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
     <fvRsProv matchT="AtleastOne"
          prio="unspecified" tnVzBrCPName="webCtrct-pod2"/>
     </l3extInstP>
     <l3extConsLbl descr=""
         name="golf2"
          owner="infra"
          ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green"/>
</l3extOut>
<l3extOut descr=""
     enforceRtctrl="export"
    name="routAccounting"
    ownerKey="" ownerTag="" targetDscp="unspecified">
     <l3extRsEctx tnFvCtxName="ctx6"/>
     <l3extInstP descr=""
          matchT="AtleastOne"
          name="accountingInst"
          prio="unspecified" targetDscp="unspecified">
     <l3extSubnet aggregate="export-rtctrl,import-rtctrl" descr=""
          ip="0.0.0/0" name=""
          scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
     <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
     <fvRsProv matchT="AtleastOne" prio="unspecified" tnVzBrCPName="webCtrct"/>
     </l3extInstP>
     <l3extConsLbl descr=""
         name="golf"
          owner="infra"
          ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green"/>
</l3extOut>
```

REST API を使用してタスクを実行する

</fvTenant>

# **REST API** を使用した DCIG への BGP EVPN タイプ2ホスト ルート配信の有効化

次のように REST API を使用して、BGP EVPN タイプ2ホストルートの配信を有効にします。

## 始める前に

EVPN サービスを設定する必要があります。

## 手順

**ステップ1** 次の例のように、XML が含まれている POST で、ホスト ルート リーク ポリシーを設定します。

### 例:

<bgpCtxAfPol descr="" ctrl="host-rt-leak" name="bgpCtxPol 0 status=""/>

**ステップ2**次の例のように、XML が含まれている POST を使用してアドレス ファミリの一方または両方の VRF BGP アドレス ファミリ コンテキスト ポリシーに、ポリシーを適用します。

#### 例:

```
<fvCtx name="vni-10001">
<fvRsCtxToBgpCtxAfPol af="ipv4-ucast" tnBgpCtxAfPolName="bgpCtxPol_0"/>
<fvRsCtxToBgpCtxAfPol af="ipv6-ucast" tnBgpCtxAfPolName="bgpCtxPol_0"/>
</fvCtx>
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては 、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている 場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容につい ては米国サイトのドキュメントを参照ください。